

# 平成29年度

一 般 会 計  
国民健康保険特別会計  
白石町 後期高齢者医療特別会計 決算説明報告書  
農業集落排水特別会計  
特定環境保全公共下水道特別会計

佐賀県白石町



## 決算説明報告書の編集にあたって

1. この報告書は、平成29年度に実施した主要な事業の成果について決算書の款・項・目ごとに記載したものであります。
2. 主要な事業についての説明でありますので、決算額（予算額）欄の計数については、決算書の目の合計と一致しない場合があります。
3. この報告書は、地方自治法第233条第5項に規定する「主要な施策の成果を説明する書類」として位置するものであります。

# 目 次

・平成29年度決算指標等・健全化判断比率・資金不足比率	・・・・	1	・子どもの医療事業費	・・・・	26
・歳入に関する増減額調	・・・・	2	・予防接種事業費	・・・・	27
・性質別経費に関する増減額調	・・・・	3	・成人検診事業費	・・・・	28
・地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費	・・・・	4			
<b>【総務課】</b>			<b>【長寿社会課】</b>		
・がばいよかところ発信事業	・・・・	5	・障害者自立支援給付費	・・・・	29
・衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査	・・・・	6	・障害児通所支援給付費	・・・・	30
・防災施設整備費(緊急放送端末機設置事業・繰越明許)	・・・・	7	・重度心身障害者医療給付費	・・・・	31
			・敬老の日記念事業	・・・・	32
<b>【企画財政課】</b>			・地域介護・福祉空間整備推進事業	・・・・	33
・企画政策費(協働による多文化共生型地域日本語教室開設費)	・・・・	8	・地域共生ステーション防犯対策整備事業費	・・・・	34
・地域づくり推進費(コミュニティタクシー運行事業)	・・・・	9	・介護保険事業費	・・・・	35
・婚活サポート事業費	・・・・	10	・介護予防普及啓発事業費	・・・・	36
・空き家バンク事業	・・・・	11	・生活支援体制整備事業	・・・・	37
			<b>【生活環境課】</b>		
<b>【税務課】</b>			・一般廃棄物収集運搬業務	・・・・	38
・個人町民税	・・・・	12	・容器包装廃棄物再商品化事業	・・・・	39
・法人町民税	・・・・	13	・容器包装廃棄物収集運搬事業	・・・・	40
・固定資産税	・・・・	14			
・軽自動車税	・・・・	15・16	<b>【水道課】</b>		
・町たばこ税	・・・・	17	・上水道高料金対策補助金	・・・・	41
・固定資産税費(固定資産土地評価支援業務委託)	・・・・	18			
			<b>【下水道課】</b>		
<b>【住民課】</b>			・浄化槽整備推進事業費	・・・・	42
・ヘルスケアポイント事業	・・・・	19	・公共下水道等接続促進事業費	・・・・	43
<b>【保健福祉課】</b>			<b>【農業振興課】</b>		
・臨時福祉給付金事業	・・・・	20	・しろいし農業塾	・・・・	44
・児童手当	・・・・	21	・新規就農・経営継承総合支援事業	・・・・	45
・町立保育園公設民営費	・・・・	22	・さが園芸農業者育成対策事業	・・・・	46
・学童保育事業費	・・・・	23	・玉葱生産安定対策事業	・・・・	47
・地域子育て支援事業費	・・・・	24	・産地パワーアップ事業	・・・・	48
・不妊治療支援事業費	・・・・	25	・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費	・・・・	49
			・佐賀県集落営農組織法人化推進事業費	・・・・	50

・直接支払推進事業費	・・・・	51
・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(繰越明許)	・・・・	52

**【産業創生課】**

・ふるさと応援事業費	・・・・	53
・地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)	・・・・	54
・道の駅施設整備事業	・・・・	55
・6次産業推進事業費	・・・・	56
・新規農産物開発研究費	・・・・	57
・しろいしブランド確立対策事業	・・・・	58
・商工振興費(地域商業活性化支援事業補助金)	・・・・	59
・商工団体振興事業(商工団体環境整備事業費補助金)	・・・・	60
・観光費	・・・・	61
・まちおこし事業補助金	・・・・	62

**【農村整備課】**

・多面的機能支払交付金農地維持支払事業	・・・・	63
・          〃          資源向上支払(共同活動)事業	・・・・	64
・          〃          資源向上支払(長寿命化)事業	・・・・	65
・基幹水利施設ストックマネジメント事業費	・・・・	66
・地域農業水利施設ストックマネジメント事業費	・・・・	67
・農業基盤整備促進事業	・・・・	68
・農業基盤整備促進事業(当初分・繰越明許)	・・・・	69
・農業基盤整備促進事業(補正分・繰越明許)	・・・・	70
・白石基盤整備促進事業	・・・・	71
・基幹水利施設管理事業佐賀西部白石地区	・・・・	72
・ため池等整備事業費	・・・・	73
・漁業環境保全事業費	・・・・	74
・漁港整備事業費	・・・・	75
・漁港整備事業費(新有明・繰越明許)	・・・・	76

**【建設課】**

・住民協働・道路等環境整備事業費	・・・・	77
・道路改築・修繕事業	・・・・	78
・道路新設改良費	・・・・	79
・通学路整備事業	・・・・	80
・橋りょう長寿命化事業	・・・・	81

・公営住宅ストック総合改善事業	・・・・	82
・公営住宅ストック総合改善事業(繰越明許)	・・・・	83
・鳥ノ巣ため池整備費	・・・・	84

**【学校教育課】**

・適応教室事業	・・・・	85
・学校教育課費(小学校情報教育費)	・・・・	86
・学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	・・・・	87
・コミュニティ・スクール費	・・・・	88
・小学校施設整備費	・・・・	89
・中学校施設整備費	・・・・	90
・子どもの学習環境改善事業	・・・・	91

**【生涯学習課】**

・文化活動推進・文化財保護費	・・・・	92
・青少年育成費	・・・・	93
・町スポーツ大会費	・・・・	94
・ロードレース大会費(歌垣の郷ロードレース大会)	・・・・	95
・白石社会体育館改修事業費	・・・・	96

**《特別会計》**

・国民健康保険特別会計	・・・・	97～106
・後期高齢者医療特別会計	・・・・	107
・農業集落排水特別会計	・・・・	108
・特定環境保全公共下水道特別会計	・・・・	109～110

**《平成29年度契約関係一覧表》**

・・・・	111～114
------	---------



## 地方財政状況調査(決算統計)による財政分析及び健全化判断比率・資金不足比率

### ○ 平成29年度決算指標等

指標等		平成28年度	平成29年度
経常収支比率(%)		91.0	93.2
	うち人件費	26.0	26.8
	うち物件費	10.4	12.1
	うち扶助費	9.3	6.8
	うち補助費等	10.1	10.5
	うち公債費	19.5	20.0
実質収支比率(%)		5.1	5.5
標準財政規模(千円)		7,984,894	7,874,401
財政力指数		0.335	0.333
実質公債費比率(%)		6.9	7.5

### ○ 健全化判断比率(財政健全化法による指標)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成29年度決算に基づく比率(%)	—	—	7.5	15.8
早期健全化基準(%)	13.78	18.78	25.0	350.0
財政再生基準(%)	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字比率から将来負担比率までの4指標のうち、いずれかが「早期健全化基準」あるいは「財政再生基準」を超えると、「財政健全化計画」あるいは「財政再生計画」を策定し、財政の立て直しを行わなければならない。

### ○ 公営企業会計に係る資金不足比率(財政健全化法による指標)

区分	公営企業会計	資金不足比率
平成29年度決算に基づく比率(%)	水道事業会計	—
	農業集落排水特別会計	—
	特定環境保全公共下水道特別会計	—
経営健全化基準(%)		20.0

資金不足比率が「経営健全化基準」を超えると、「経営健全化計画」策定することとなる。上記の各公営企業会計とも「黒字」であったため、資金不足比率は算定されない。

歳入に関する増減額調

(単位:千円)

区 分	平成28年度 決算額 A	平成29年度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 地方税	2,197,031	2,193,989	△ 3,042	△ 0.1
2 地方譲与税	146,929	146,400	△ 529	△ 0.4
3 各種交付金	422,869	447,308	24,439	5.8
うち地方消費税交付金	386,657	393,088	6,431	1.7
4 地方特例交付金	8,081	8,601	520	6.4
5 地方交付税	5,383,763	5,176,743	△ 207,020	△ 3.8
(1)普通交付税	4,899,954	4,721,048	△ 178,906	△ 3.7
(2)特別交付税	483,809	455,695	△ 28,114	△ 5.8
(3)震災復興特別交付税	0	0	0	-
6 使用料・手数料	248,919	250,233	1,314	0.5
7 国庫支出金	1,008,966	1,007,932	△ 1,034	△ 0.1
うち普通建設事業費支出金	59,881	93,213	33,332	55.7
8 県支出金	1,246,548	1,165,860	△ 80,688	△ 6.5
9 繰入金	974,300	1,407,471	433,171	44.5
10 繰越金	383,049	616,012	232,963	60.8
11 地方債	589,000	1,579,700	990,700	168.2
うち減税補てん債	0	0	0	-
うち臨時財政対策債	340,000	346,000	6,000	1.8
12 その他	739,810	883,304	143,494	19.4
うち諸収入中貸付金元利収入	52,001	52,000	△ 1	△ 0.0
歳入合計(1~12)	13,349,265	14,883,553	1,534,288	11.5
うち経常一般財源	7,705,502	7,973,041	267,539	3.5

※ 平成29年度 地方財政状況調査表より



性質別経費に関する増減額調

(単位:千円)

区 分	平成28年度 決算額 A	平成29年度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 義務的経費	5,737,383	5,751,280	13,897	0.2
(1) 人件費	2,312,133	2,293,699	△ 18,434	△ 0.8
(イ)うち職員給	1,482,132	1,466,673	△ 15,459	△ 1.0
うち基本給	1,001,316	996,056	△ 5,260	△ 0.5
うちその他の手当	480,816	470,617	△ 10,199	△ 2.1
(ロ)うち退職金	274,995	262,063	△ 12,932	△ 4.7
(2) 扶助費	1,844,010	1,865,662	21,652	1.2
(3) 公債費	1,581,240	1,591,919	10,679	0.7
2 投資的経費	1,573,994	1,852,951	278,957	17.7
うち普通建設事業費	1,568,391	1,851,112	282,721	18.0
(イ) うち補助事業費	796,096	791,486	△ 4,610	△ 0.6
(ロ) うち単独事業費	683,162	962,196	279,034	40.8
3 その他の経費	5,421,875	6,811,393	1,389,518	25.6
(1) うち物件費	1,721,007	1,721,024	17	0.0
(2) うち補助費等	1,477,902	1,426,424	△ 51,478	△ 3.5
(3) うち積立金	584,095	1,866,039	1,281,944	219.5
(4) うち貸付金	52,000	52,000	0	0.0
(5) うち繰出金	1,507,971	1,686,210	178,239	11.8
歳出合計 (1~3)	12,733,252	14,415,624	1,682,372	13.2

※ 平成29年度 地方財政状況調査表より

平成29年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率(国・地方)が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収部分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 176,795千円  
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 3,573,055千円

(単位:千円)

事業名	経費 (決算額)	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	その他
社会福祉事業	39,942	4,551	0	460	1,976	32,955
障害者福祉事業	687,612	498,628	0	24,766	34,023	130,195
老人福祉事業	113,644	1,437	15,000	49,234	5,623	42,350
児童福祉事業	1,285,198	405,178	0	385,871	63,592	430,557
子ども・子育て支援事業	52,479	31,663	0	6,863	2,597	11,356
国民健康保険事業	334,321	115,790	0	0	16,542	201,989
介護保険事業	374,748	0	0	0	18,543	356,205
後期高齢者医療事業	487,457	86,795	0	0	24,119	376,543
子ども医療事業	81,160	18,791	47,000	100	4,016	11,253
保健衛生事業	38,160	1,913	5,000	5,869	1,888	23,490
疾病予防事業	78,334	1,175	0	2,784	3,876	70,499
合計	3,573,055	1,165,921	67,000	475,947	176,795	1,687,392

# 一般会計



年度	29	会計	一般会計								単位:千円	
款	2	項	1	目	9	細事業名	がばいよかこ発信事業				所属	総務課 広報情報係
目名称	広報広聴費					財源内訳					決算書頁	
決算額	1,939					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 2,012 )									1,939	55	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第1節	生活基盤の充実			

### 1 事業概要

町への交流人口や移住者の増に向け、白石町を全国に向けてPRすることを目的に、平成27年度・平成28年度はホームページのリニューアル及び町のPR映像作成・発表に取り組んだ。平成29年度においては、引き続き白石町のPRを行いつつも、県内はもとより、近県をターゲットとしたPR活動を行った。特に福岡都市圏については、地理的にも身近に行き来できることから、力を入れてPR活動を展開した。

### 2 事業実績

11 需用費	<b>1,194 千円</b>
・ 事務用消耗品	75 千円
・ PRポスター制作費(B2版 4種×100枚)	421 千円
・ 広報用バックパネル購入	213 千円
・ PRネックストラップ作成(400個)	367 千円
・ 名刺台紙購入	118 千円
12 役務費	<b>540 千円</b>
・ 広告費(福岡市内フリーペーパー広告掲載)	540 千円
13 委託料	<b>205 千円</b>
・ 名刺用台紙デザイン等作成業務委託	205 千円

### 3 事業効果

県外・町外に向け白石町の魅力を発信することで、町の知名度を上げ各資源を通じたファンの確保や交流人口等の増加を目指すことで、町民にとっても白石町の魅力を再認識する機会になる。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	2	項	4	目	4	細事業名	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査			所属	総務課 総務係
目名称	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費					財源内訳					
決算額	11,279					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 11,757 )						10,842			437	63・64
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進		

1 事業概要 衆議院解散に伴う、第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行。

(1) 公示日	平成29年10月10日(火)
(2) 選挙期日	平成29年10月22日(日)

2 事業実績

歳出

科目	予算額	実績	(円)	決算額
1. 報酬	809	投票管理者(期日前投票所)	57,300	789
		投票管理者(選挙当日投票所)	163,800	
		投票立会人(期日前投票所)	209,000	
		投票立会人(選挙当日投票所)	278,200	
		開票管理者	10,600	
		開票立会人	70,400	
3. 職員手当等	7,348	時間外勤務手当等(期日前投票、選挙事務等)	7,335,365	7,347
		管理職特別勤務手当	12,000	
7. 賃金	224	選挙事務日々雇用職員賃金	174,950	175
9. 旅費	24	選管委員出席費用弁償	14,000	14
11. 需用費	1,077	消耗品費(投開票事務用品・ポスター掲示場)	762,184	979
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代等)	69,500	
		印刷製本費(入場券等)	147,344	
12. 役務費	1,074	通信運搬費(入場券等郵便料金等)	534,519	1,073
		手数料(枚数計算機等点検手数料)	538,920	
13. 委託料	734	ポスター掲示場設置、管理委託料	359,424	584
		選挙公報配布委託料	224,340	
14. 使用料及び賃借料	467	会場借上料(投票所、開票所)	28,000	318
		その他借上料(コピー・ファックスレンタル料等)	289,576	
合計	11,757			11,279

歳入

科目	予算額	決算額
15. 県支出金 3. 県委託金		
衆議院議員総選挙及び国民審査執行委託費	11,757	10,842

3 事業効果 投開票とも適切な事務執行ができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	09	項	01	目	04	細事業名	防災施設整備費 (緊急放送端末設置事業・繰越明許)			所属	総務課 危機管理・防災係	
目名称		防災費				財 源 内 訳					決算書頁	
決算額		111,402				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	126	
(予算額)		本年度当初 ( 160,000 )							100,000	11,402		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備				

### 1 事業概要

防災行政無線を補完する情報伝達手段を整備し、災害時の情報伝達を確実に行った。

その他の財源	
振興基金繰入金	100,000千円

### 2 事業実績

防災行政無線を補完する情報伝達手段の整備

- 告知放送端末設置(有線方式)
- 白石町緊急放送端末機設置交付金

### 15.工事請負費

告知放送端末整備費	108,184 千円	【内訳】		
		告知放送端末機設置(引込、内線工事、分配器合)	77,760,000円	(3,665台)
		サブセンター整備	2,919,000円	
		防災行政無線連携	4,621,000円	
		諸経費	14,870,000円	
		消費税	8,013,600円	
			<u>100,170,000円</u>	
			108,183,600円	

### 19.負担金補助及び交付金

白石町緊急放送端末機設置交付金	3,218 千円	【内訳】	
		1,600 円 × 2,011 台 = 3,217,600円	

合計 111,402 千円

### 3 事業の効果

災害発生時等に町民に必要となる災害情報等を町内全域に迅速かつ正確な伝達方法として戸別端末機の整備を図った。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	2	項	1	目	7	細事業名	企画政策費 (協働による多文化共生型地域日本語教室開設費)			所属	企画財政課 政策推進係
目名称	企画総務費					財 源 内 訳					
決算額	174					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 176 )									174	51
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 1 節	参加と協働の促進			

1 事業概要

町民有志が外国人住民と日本語を使って交流する場を開設・運営することに対して支援し、民間と行政が協働によって、外国人住民が地域の一員として活躍できるように交流する。

2 事業実績

- ・交流会の名称「しろいしWa! Wa! Wa!」。
- ・平成29年10月17日から11月21日までの間に交流会の運営を行うパートナー(日本人ボランティア)を養成するために養成講座を6回実施。
- ・平成30年1月16日、開講式を開催。その後、月2~3回のペースで平成29年度は8回の交流会を実施。
- ・外国人参加者は、平成30年3月末で延べ60名。パートナーは26名登録。

(単位:円)

節	細節	内訳	決算額
8 報償費	講師謝金	・パートナー勉強会 講師謝金 5,000円×1回	5,000
9 旅費	普通旅費	・パートナー勉強会 講師交通費 3,810円×1回	3,810
11 需用費	消耗品費	・教材(教具費)及び広報用チラシ用紙代等	165,488

3 事業効果

多文化共生や国際理解への意識が高まり、地域に暮らす人々が互いに助け合い安心して生活できる環境を整えることができつつある。



年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり推進費 (コミュニティタクシー運行事業)			所属	企画財政課 白石創生推進係
目名称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
決算額	16,476					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 17,191 )							15,000		1,476	52・55
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

### 1 事業概要

平成17年10月から、地域生活の向上や合併後の町の一体化を強化することなどを目的に、定時定路8路線で運行を開始した。その後、利用者のニーズや利用実態を踏まえた見直しを行い、平成22年7月から、現行の定時定路2路線とデマンド型の組み合わせによる運行に変更している。

### 2 事業実績

(利用者数:人)

名称	路線(地域)名	キロ程	平成28年度	平成29年度
いこカー	福富線	9.9km	2,598	2,950
	牛間田横手線	17.1km	4,743	5,477
予約制いこカー	須古・六角	—	1,616	1,730
	白石・北明	—	1,088	1,092
	福富	—	1,652	1,716
	有明	—	1,590	1,883
計			13,287	14,848

- ・小学生未満は、無料(保護者同伴に限る)
- ・小学生は半額
- ・身体障害者手帳(1種)所持者およびその介護人、療育手帳所持者およびその介護人、身体障害者手帳(2種)、精神障害者保健手帳所持者は半額(各種手帳を提示した場合に限る)
- ・運転免許証の自主返納者は半額(運転経歴証明書を提示した場合に限る)

(単位:円)

節	決算額	内容説明
8. 報償費	59,400	地域公共交通会議委員報償費
11. 需用費	211,680	コミュニティタクシー時刻表印刷費
	43,740	コミュニティタクシー停留所修理費
19. 負担金補助及び交付金	16,161,262	コミュニティタクシー運行費補助金 ・定時定路線型(いこカー) 9,354,432円 ・デマンド型(予約制いこカー) 6,806,830円

- ・いこカー補助算定  
(運行キロ×145円×日数)－運賃収入(1人:200円)＝町補助額
- ・予約制いこカー補助算定  
(タクシーメーター料金)－運賃収入(1人:300円)＝町補助額

※財源:平成29年度過疎対策事業債

### 3 事業効果

地域の実情に応じた交通弱者の方達の地域生活の向上や、町の活性化などに寄与した。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	8	細事業名	婚活サポート事業費				所属	企画財政課 白石創生推進係
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁	
決算額	935					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 1,407 )									935		52・53
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第1節	生活基盤の充実			

1 事業概要

婚活サポーターを設置し、結婚を希望する人からの相談や情報提供、ならびに婚活サポーターの連携による引き合わせなどを随時行う。ひいては、独身者の未婚化、晩婚化に歯止めをかけるきっかけとなり、幸せな家庭づくりの推進と将来的な少子化対策、及び定住促進に寄与するもの。

2 事業実績

- ・第2期婚活サポーター 23名(任期:平成28年4月1日～平成30年3月31日)
- ・婚活サポートシート受理状況 98名(男性70名、女性28名 平成30年3月31日現在)
- ・「第1回白石の地で縁結び」開催(期日:11月5日 場所:稲佐神社)

(単位:円)

節	決算額	内容説明
8. 報償費	782,000	婚活サポーター謝礼
11. 需用費	34,621	消耗品費
	97,645	婚活イベント用ポスター印刷費
12. 役務費	10,000	婚活サポート事業広告料
	10,458	婚活サポーター傷害保険料

3 事業効果

婚活サポーターの方達に、熱心な婚活相談や引きあわせ等を行っていただいたことにより、相談者の異性と接する時のマナーや、結婚に対する意識を高めることができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	空き家バンク事業			所属	企画財政課 白石創生推進係
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					
決算額	1,104					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(2,192)									1,104	52・53・55
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第1節	生活基盤の充実			

### 1 事業概要

空き家の問題が社会的な課題として認識されるなか、町内の空き家物件情報を空き家バンクサイトを通じて町内外に情報発信し、利用希望者と空き家提供者をマッチング、成約させることで、空き家の有効活用と移住・定住の推進及び地域の活性化を図るもの。

### 2 事業実績

- ・ 空き家バンク制度創設について、宅地建物取引業者と検討会開催(3回)
- ・ 空き家バンク制度の構築
- ・ 空き家バンクサイトの制作及び運営管理

(単位:円)

節	決算額	内容説明
8. 報償費	59,400	空き家バンク制度創設検討会報償費
9. 旅費	5,820	職員旅費
11. 需用費	49,999	消耗品費
13. 委託料	888,300	空き家バンクサイト制作委託料
19. 負担金補助 及び交付金	100,000	「空き家バンク物件」流通促進奨励金

### 3 事業効果

- ・ 本町への移住・定住推進及び地域の活性化を図った。
- ・ 町内に現存する空き家の有効活用と、特定空家となることの防止を図った。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計 歳入									
款	1	項	1	目	1	細事業名	個人町民税				所属	税務課
目名称	個人町民税					財源内訳					決算書頁	
決算額	862,486					国库	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(853,400)										7	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第6章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

趣旨

個人町民税・県民税(住民税)は、「地域社会における様々な行政サービスの提供にあたって必要となる費用を、広く町民の皆様から、その能力に応じて負担していただく」という性格を持った税金で、その年の1月1日現在に居住していた市町村において、前年中の所得金額に応じて課税される地方税。

税の内容

【課税団体】 住所所在地の市町村又は事務所、事業所もしくは家屋敷所在の市町村(法2)

【納税義務者】 ① 町内に住所を有する個人……………個人の均等割額及び所得割額の納税義務を負う。(法294①I)

② 町内に事務所、事業所または家屋敷を有する個人で、町内に住所を有しない者……………個人の均等割額のみ納税義務を負う。(法294①II)

【賦課期日】 当該年度の初日の属する年の1月1日(法318)

【申告】 前年中所得を賦課期日現在の住所所在地の市町村に道府県民税及び市町村民税に関する申告書を提出しなければならない。(法317の2①)

【税率】 → 均等割 (法310、38)      町民税 3,500円      所得割 (法314の3,35)      県民税 2,000円

	標準税率
町民税	6%
県民税	4%

【徴収方法】 普通徴収および特別徴収(給与特徴、年金特徴)の2つの方法。

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	871,724,763	863,300,159	0	99.03%	8,424,604
H26年度	796,467,506	790,504,182	103,226	99.25%	5,860,098
H27年度	857,966,250	850,823,893	0	99.17%	7,142,357
H28年度	897,618,461	889,858,929	0	99.14%	7,759,532
H29年度	862,503,315	854,071,944	0	99.02%	8,431,371

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	21,674,167	9,327,269	765,451	43.03%	11,581,447
H26年度	19,969,169	10,782,151	1,153,011	53.99%	8,034,007
H27年度	13,681,357	6,329,851	364,460	46.27%	6,987,046
H28年度	14,128,728	4,591,519	139,212	32.50%	9,397,997
H29年度	17,144,588	8,414,471	126,677	49.08%	8,603,440

単位:千円

年度	29	会計	一般会計 歳入			細事業名	法人町民税	所属	税務課	
款	1	項	1	目	2					
目名称	法人町民税					財源内訳			決算書頁	
決算額 (予算額)	68,717 (65,740)					国庫	県費	地方債		その他
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第6章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

趣旨 法人等の町民税は、白石町内に事務所や事業所などを有する法人や、人格のない社団等に課税される税金。個人の町県民税と同様に均等割と、国税である法人税の額に応じて負担する法人税割とがある。

税の内容

- 【納税義務者】
  - ①町内に事務所、事業所がある法人
  - ②町内に事務所、事業所はないが、寮・宿泊所などがある法人
  - ③町内に事務所、事業所、寮などがある法人でない社団または財団で、代表者または管理人の定めのあるもの(収益事業を行うものを除く)
- 【課税標準】 法人税法により算出した法人税額が基本(各事業年度の所得金額及び退職年金等積立金の額及び清算所得金額。)

【税率】 所得割額 標準税率……9.7% 均等割額 税率 → ※H26年10月1日事業開始年より適用 (制限税率……12.1%)

【申告・納付】 各々の法人が定める事業年度終了後2か月以内に法人が自ら税額を計算し、町内の主たる事務所等が所在する町役場へ申告してその税額を納めます。

区分	資本金の金額	従業員数	税率(年額)	法人数
第9号法人	50億円を超える	50人超	300万円	2
第8号法人	10億円を超え50億円以下	50人超	175万円	0
第7号法人	10億円を超え50億円以下	50人以下	41万円	16
第6号法人	1億円を超え10億円以下	50人超	40万円	2
第5号法人	1億円を超え10億円以下	50人以下	16万円	9
第4号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人超	15万円	5
第3号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人以下	13万円	46
第2号法人	1,000万円以下	50人超	12万円	4
第1号法人	1,000万円以下	50人以下	5万円	274
法人数 合計				358

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	76,770,100	76,717,800	0	99.93%	52,300
H26年度	86,291,700	86,091,700	0	99.77%	200,000
H27年度	66,076,400	66,046,400	0	99.95%	30,000
H28年度	70,177,700	70,157,700	0	99.97%	20,000
H29年度	69,147,500	68,707,500	0	99.36%	440,000

② 滞納繰越分

● 収納状況

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	788,620	30,700	50,000	3.89%	707,920
H26年度	760,220	82,300	0	10.83%	677,920
H27年度	877,920	215,000	0	24.49%	662,920
H28年度	692,920	30,000	261,220	4.33%	401,700
H29年度	421,700	10,000	0	2.37%	411,700

単位:千円

年度	29	会 計	一般会計 歳入										
款	1	項	2	目	1	細 事 業 名	固定資産税				所属	税務課	
目名称		固定資産税				財 源 内 訳					決算書頁		
決算額		994,382				国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		7	
(予算額)		( 986,100 )											

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第6章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第2節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	-------------	----------------------------	-------------	-------------

1 事業概要

【趣 旨】 固定資産の保有と市町村の行政サービスとの間に存在する受益関係に着目し、資産価値に応じて毎年経常的に課税される物税。賦課期日(毎年1月1日)に、「土地・家屋・償却資産」を所有している納税義務者に課税される地方税。

【課税客体】 土地、家屋、償却資産 【税率】 1.4/100(1.4%)  
 【課税団体】 所在市町村、配分を受けた市町村 【免税点】  
 【納税義務者】 固定資産の所有者  
 【賦課期日】 当該年度の初日の属する年の1月1日  
 【評価替え】 土地及び家屋については3年毎に評価の見直し  
 (・・・H24年度 → H27年度 → H30年度・・・)

土 地	30万円
家 屋	20万円
償 却 資 産	150万円

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況 (単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	942,237,200	927,602,782	633,700	98.45%	14,000,718
H26年度	956,127,500	944,011,726	0	98.73%	12,115,774
H27年度	953,791,900	942,724,627	117,000	98.84%	10,950,273
H28年度	964,819,700	953,062,749	85,700	98.78%	11,671,251
H29年度	995,581,700	984,333,397	85,300	98.87%	11,163,003

② 滞納繰越分

● 収納状況 (単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	48,108,445	16,284,940	1,481,400	33.85%	30,342,105
H26年度	44,342,723	17,123,601	2,152,669	38.62%	25,066,453
H27年度	37,153,727	11,804,817	1,348,889	31.77%	24,000,021
H28年度	34,955,294	9,418,416	1,254,438	26.94%	24,282,440
H29年度	35,911,691	10,049,230	2,925,368	27.98%	22,937,093

単位:千円

年度	29	会計	一般会計 歳入									
款	1	項	3	目	1	細事業名	軽自動車税①				所属	税務課
目名称	軽自動車税					財源内訳					決算書頁	
決算額	94,445					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	8	
(予算額)	( 94,000 )											
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第6章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第2節		健全な行政運営の推進		

1 事業概要

趣旨  
税の内容

賦課期日(4月1日)現在において主たる定置場所所在市町村において所有している軽自動車の納税義務者に課税する。

【課税客体】 原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車

【課税団体】 上記、課税客体の主たる定置場所所在の市町村

【賦課期日】 4月1日

【納税義務者】 a 軽自動車の所有者

【納期】 5月31日

b 所有権留保付売買があった場合は、買主をその軽自動車等の使用者とみなす。

【標準税率】

車種	課税対象	税額(円)		課税台数(台)		
		業務用	自家用			
① 原動機付自転車	二輪	総排気量50cc以下		945台		
		総排気量50cc超90cc以下		85台		
		総排気量90ccを超えるもの		101台		
	三輪以上で総排気量20cc以上(ミニカー)		64台			
② 軽自動車および小型特殊自動車	二輪(サイドカー付きのものを含む)		206台			
	三輪(トラック又は三輪自動車)		0台			
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)平成16年3月31日以前	8,200円	12,900円	2台	1,373台
		貨物(4ナンバー車)登録	4,500円	6,000円	2台	1,789台
		乗用(5ナンバー車)平成16年4月1日から	5,500円	7,200円	2台	4,853台
		貨物(4ナンバー車)平成28年3月31日まで登録	3,000円	4,000円	16台	2,429台
	乗用(5ナンバー車)平成28年4月1日から	6,900円	10,800円	0台	409台	
	貨物(4ナンバー車)平成29年4月1日まで登録	3,800円	5,000円	1台	307台	
農耕用及び特殊自動車		2,400円	5,900円	2,962台	99台	
③ 二輪の小型自動車		6,000円		443台		

【軽課税率】

車種	課税対象	税額(円)		課税台数(台)		
		業務用	自家用			
④ 軽自動車	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	1,800円	2,700円	0台	0台
		貨物(4ナンバー車)	1,000円	1,300円	0台	0台
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	3,500円	5,400円	0台	146台
		貨物(4ナンバー車)	1,900円	2,500円	0台	0台
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	5,200円	8,100円	0台	139台
		貨物(4ナンバー車)	2,900円	3,800円	0台	14台

【対象】28年4月1日～29年3月31日に最初(新車)の新規検査を受けた車両(軽自動車)で下の(ア)～(ウ)のいずれかにあてはまるもの

(ア)電気自動車および天然ガス自動車(平成21年排出ガス規制に適合し、かつ、平成21年排出ガス基準値より10%以上窒素酸化物の排出量が少ないもの。)

(イ)平成17年排出ガス規制に適合し、かつ、平成17年排出ガス基準値より75%以上窒素酸化物の排出量が少ないものうち、乗用のものについては平成32年度燃費基準値より20%以上燃費性能の良いもの、貨物用のものについては平成27年度燃費基準値より35%以上燃費性能の良いもの。

(ウ)平成17年排出ガス規制に適合し、かつ、平成17年排出ガス基準値より75%以上の窒素酸化物の排出量が少ないものうち、乗用のものについては平成32年度燃費基準を満たすもの、貨物用のものについては平成27年度燃費基準値より15%以上燃費性能の良いもの。

単位:千円

年度	0	会計	一般会計 歳入										
款	1	項	3	目	1	細事業名	軽自動車税②				所属	税務課	
目名称	軽自動車税					財源内訳					決算書頁		
決算額	94,445					国库	県費	地方債	その他	一般財源	8		
(予算額)	( 94,000 )												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第6章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】					基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進	

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	74,192,200	73,243,929	0	98.72%	948,271
H26年度	75,833,500	75,048,300	0	98.96%	785,200
H27年度	76,500,700	75,732,300	0	99.00%	768,400
H28年度	91,769,200	90,642,586	7,200	98.77%	1,119,414
H29年度	94,742,900	93,585,100	0	98.78%	1,157,800

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H25年度	2,389,972	792,596	284,000	33.16%	1,313,376
H26年度	2,178,447	973,069	29,000	44.67%	1,176,378
H27年度	1,942,378	679,962	44,000	35.01%	1,218,416
H28年度	1,916,416	581,000	136,062	30.32%	1,199,354
H29年度	2,185,368	859,914	201,400	39.35%	1,124,054



単位:千円

年度	29	会計	一般会計 歳入									
款	1	項	4	目	1	細事業名	町たばこ税				所属	税務課
目名称	町たばこ税					財 源 内 訳					決算書頁	
決算額	173,406					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	8	
(予算額)	( 173,000 )											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第6章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

趣旨 製造たばこの製造者、特定販売業者または卸販売業者が小売販売業者に売り渡す場合に、その小売販売業者の営業所在の市町村が卸売業者等に課税する。最終的な担税者は消費者である。  
町内でのたばこの購買促進を図ることにより、たばこ税の税収確保を目的とし、小売店組合等に助成事業を行う。

税の内容

【課税客体】 卸売販売業者等が行う小売販売業者、もしくは消費者への売渡または消費等にかかわる製造たばこ。  
【課税団体】 たばこ小売販売業者の営業所所在の市町村  
【納税義務者】 製造たばこの製造者、特定販売業者または卸売販売業者。  
【課税標準】 売渡または消費等にかかわる製造たばこの本数。(H25年4月から県たばこ税の一部が町たばこ税に移行)  
【税率】 旧3級品以外の紙巻たばこについては、1,000本につき5,262円。  
旧3級品の紙巻たばこについては、1,000本につき3,355円  
【徴収方法】 申告納付による普通徴収。  
【納期】 当月分を翌月末までに納付。

2 事業実績

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	収入未済額	徴収率	対前年比
H25年度	194,014,085	194,014,085	0	100.00%	116.31%
H26年度	187,051,083	187,051,083	0	100.00%	96.41%
H27年度	185,575,224	185,575,224	0	100.00%	99.21%
H28年度	178,133,660	178,133,660	0	100.00%	95.99%
H29年度	173,406,297	173,406,297	0	100.00%	97.35%

→ H25年4月税率改正

→ H28年4月税率改正(旧3級品のみ)

→ H29年4月税率改正(旧3級品のみ)

● たばこ売渡本数

(単位:本)

年度	旧3級品以外	旧3級品	総本数	対前年比
H25年度	36,452,010本	1,666,080本	38,118,090本	103.25%
H26年度	34,796,485本	1,583,960本	36,380,445本	95.44%
H27年度	34,581,965本	1,444,860本	36,026,825本	99.03%
H28年度	33,141,912本	1,297,380本	34,439,292本	95.59%
H29年度	32,286,784本	1,059,300本	33,346,084本	96.83%

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	2	項	2	目	2	細事業名	固定資産税費 (固定資産土地評価支援業務委託)				所属	税務課
目名称	賦課徴収費					財源内訳					決算書頁	
決算額	13,228					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	61	
(予算額)	(13,228)											
白石町総合計画基本構想 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			第6章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

平成27年度評価替えでの土地評価について、佐賀県内では、白石町と上峰町を除く18市町で路線価方式が導入済みである。将来、県内、近隣市町との均衡を維持するための組織が出来た場合、同じ評価方式を導入することが、均衡を図る大前提となる。大きく変わっていく道路事情の中、町民へ固定資産税の課税の根拠を分かりやすく示すためにも、平成27～29年度の3カ年で路線価導入準備と土地課税客体調査及び土地評価支援システム導入を行い、平成30年度の評価替えから市街地宅地評価法とその他の宅地評価法の併用による評価とする。また、土地課税客体調査も併せて行う。

2 平成27年度から平成29年度までの事業実績

○3カ年の事業費と業務（総事業費 46,000千円）

平成27年度 当初予算額 6,000千円	平成28年度 当初予算額 26,000千円	平成29年度 当初予算額 14,000千円
○主な業務 ・用途・状況類似地区設定 ・標準宅地の選定	○主な業務 ・路線の付設 ・価格形成要因調査 ・土地価格比準表の分析・作成 ・地目、同一各地調査 ・所要の補正調査 ・画地条件調査	○主な業務 ・路線価格の算定、調整 ・路線価算定表作成 ・公開用資料作成 ・電算移行データ作成 ・土地評価支援システム導入
○支出済額 <b>5,080,320円</b> (内訳) ・路線価評価業務 2,067,120円 ・総合支援業務 3,013,200円	○支出済額 <b>25,842,240円</b> (内訳) ・路線価評価業務 4,836,240円 ・総合支援業務 21,006,000円	○支出済額(13.委託料) <b>13,227,710円</b> (内訳) ・路線価評価業務 3,324,110円 ・総合支援業務 3,099,600円 ・支援システム導入業務 6,804,000円

3 事業効果

- ①課税根拠の明確化、また明確化に伴う課税の公平性の確保
- ②近隣市町と同様の評価方式を導入することにより、課税の均衡を図る。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	4	項	1	目	1	細事業名	ヘルスケアポイント事業			所属	住民課 保険係
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					
決算額	137					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 500 )									137	83
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 4 節		社会保障の充実

1 事業概要

健康事業(集団健診受診者、人間ドック・脳ドック受診者及び健康づくりの取組みを行った)参加者に対し、商工会ポイントカードにポイントを付与する。

ポイントは付与実績に応じて商工会から1ポイントあたり1.5円で毎月請求される。

ポイントカードに付与されたポイントは280ポイントで満点となり、商工会カード会員の店で300円の商品券として利用できる。

- ・集団健診、個別健診 50ポイント
- ・特定保健指導、人間ドック、脳ドック 50ポイント
- ・健康クッキング 30ポイント

2 事業実績

年度	ポイント	8.報償費
H29	91,210	136,815円

(内訳)

- ・集団健診 1,499人×50ポイント=74,950ポイント
- ・特定保健指導等 273人×50ポイント=13,650ポイント
- ・健康クッキング 87人×30ポイント=2,610ポイント

3 事業効果

当事業が健康への関心の意識づけになり、日頃の運動意識、食生活の改善への取組みが医療費の適正化、強いては国保事業の安定化に繋げることができる。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	1	目	1	細事業名	臨時福祉給付金事業				所属	保健福祉課 福祉係
目名称	社会福祉総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	61,642					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 62,110 )					62,156			21	△ 535	66・67	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第4節	社会保障の充実			

1 事業概要

平成26年4月に消費税率が8%に上げられたことに伴い、所得の低い方々の影響を緩和するため、『臨時福祉給付金』の支給を引き続き行うもの。  
 食料品支出額の増加分(3%アップ分)の平成29年4月～31年9月末までの2年6月分(軽減税率の導入を行うまで)として、給付対象者一人につき、15,000円)  
 【基準日】・・・平成28年1月1日  
 【給付対象者】・・・平成28年度臨時福祉給付金給付対象者(平成28年度分の市町村民税(均等割)が課税されていない者から、以下の者を除いた者  
 [★市町村民税(均等割)が課税されている方から扶養されている方や、生活保護の被保護者等])  
 【給付額】・・・給付対象者一人につき、15,000円。  
 【実施方式】・・・実施主体は、市町村

2 事業実績

区分	予算額(千円)	説明
3.職員手当等	757	時間外勤務手当
7.賃金	1,460	日々雇用職員賃金 6,400円×延べ228日
11.需用費	299	消耗品費
	132	光熱水費
12.役務費	351	通信運搬費
	241	手数料
13.委託料	92	申請書データエントリー委託料
14.使用料及び賃借料 (事務費小計)	36 3,368	事務機器リース料
19.負担金補助及び交付金	58,050	臨時福祉給付金
23.償還金利子及び割引料	224	過年度国庫補助金返還金
合計	61,642	

支給決定者数	支給額
3,870人	3,870人×15,000円=58,050,000円

3 事業効果

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を緩和することが出来る。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	2	目	2	細事業名	児童手当				所属	保健福祉課 福祉係
目名称	児童措置費					財源内訳					決算書頁	
決算額	351,274					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 351,764 )					242,092	54,526			54,656	77	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節	子育て支援の充実			

### 1 事業概要

#### 【対象となる児童】

・15歳に達する日以降の最初の3月31日まで(中学校終了前まで)の児童

#### 【児童手当の支給月額】

・0歳から3歳未満(一律) 15,000円  
 ・3歳から小学校就学前(第1子・第2子) 10,000円  
 ・3歳から小学校就学前(第3子) 15,000円  
 ・中学生(一律) 10,000円

#### 【所得制限限度額以上】

・特例給付(一律) 5,000円

#### ※所得制限について

扶養親族の数	限度額
0人	622万円
1人	660万円
2人	698万円
3人	736万円
4人	774万円
5人	812万円

※以降1人増すごと38万円加算

#### 【支給月】

・6月(2,3,4,5月分)、10月(6,7,8,9月分)、2月(10,11,12,1月分)の年3回

### 2 事業実績

(平成29年度支給内訳)

(単位:人、円)

受給者	支給対象児童	月額	総支給額	
			延べ人数	支給額
被用者	3歳未満	15,000	3,425	51,375,000
	3歳～中学校終了前	10,000	15,012	150,120,000
		15,000	2,701	40,515,000
非被用者	3歳未満	15,000	1,355	20,325,000
	3歳～中学校終了前	10,000	6,341	63,410,000
		15,000	1,466	21,990,000
特例給付		5,000	679	3,395,000
合計(20.扶助費)			30,979	351,130,000

(財源負担割合)

支給対象児童	財源負担割合		
	国	県	町
被用者	37/45	4/45	4/45
3歳～中学校終了前			
非被用者	2/3	1/6	1/6
特例給付			

※過年度児童手当国庫負担金返還金(23.償還金利息及び割引料)・・・143,667円

### 3 事業効果

父母その他の保護者が子育てについての第一義務的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している父母等に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。

年度	29	会計	一般会計			細事業名	町立保育園公設民営費	所属	保健福祉課 こども未来係		
款	3	項	2	目	4						
目名称		児童福祉施設費				財源内訳			決算書頁		
決算額 (予算額)		586,098 ( 593,323 )				国庫	県費	地方債		その他	一般財源
									296,552	289,546	80・81

白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 事業概要

新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる民営化を推進する。

2 事業実績

(年齢区分ごとの年間延人数、年間合計人数)

保育園名	定員	指定管理期間 (5年間)	年齢区分				合計 (年間延 べ人員)
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	
有明ふたば保育園	120	H25.4~H30.3	97	572	288	586	1,543
六角保育園	110	H26.4~H31.3	82	350	196	561	1,189
有明みのり保育園	50	H26.4~H31.3	36	187	88	264	575
福田保育園	50	H27.4~H32.3	77	270	108	271	726
福富保育園	190	H27.4~H32.3	123	615	471	912	2,121
有明わかば保育園	50	H27.4~H32.3	48	162	127	263	600

歳入(その他) (単位:円)

園名	保育料※	管外受託料
ふたば保育園	27,359,630	14,108,810
六角保育園	19,896,700	5,236,040
みのり保育園	8,471,930	8,524,370
福田保育園	13,844,350	5,932,630
福富保育園	32,763,010	2,584,240
わかば保育園	9,628,160	2,502,590
計	111,963,780	38,888,680

※保育料には、管外保育受託分保育料を含む。

歳入(その他) (単位:円)

基金繰入金	ふるさと基金	145,700,000
-------	--------	-------------

歳出

(単位:円)

保育園名	13. 委託料	19. 負担金、補助及び交付金				23. 償還金利息及び割引料
	民営化運営費委託料	延長保育事業	世代間交流事業	障害児保育事業	防犯対策強化整備事業	過年度国庫補助金返還金
有明ふたば保育園	122,660,910	0	100,000	1,595,760	445,000	1,427,594
六角保育園	91,734,140	600,000	0	0	450,000	
有明みのり保育園	61,973,770	0	100,000	797,760	450,000	
福田保育園	89,047,780	354,300	100,000	398,880	370,000	
福富保育園	143,295,060	1,145,272	100,000	1,196,760	321,000	
有明わかば保育園	66,453,570	435,750	100,000	0	445,000	
計	575,165,230	2,535,322	500,000	3,989,160	2,481,000	1,427,594

3 事業効果

園児の安心・安全な保育を実施することができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計			細事業名	学童保育事業費	所属	保健福祉課 こども未来係	
款	3	項	2	目	6					
目名称	子ども・子育て支援事業費					財源内訳			決算書頁	
決算額 (予算額)	36,794 ( 39,235 )					国庫	県費	地方債		その他
			12,155	9,507		6,663	8,469	81・82		

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 事業概要

学校終了後や長期休業等に、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の就学児童(1年から6年まで)を対象として、学校の余裕教室等を利用した学童保育を実施することにより児童の健全育成を図る。

- ◇ 平日の開設時間 放課後～19:00
- ◇ 土曜日の開設時間 7:40～18:00
- ◇ 長期休業の開設時間 7:40～19:00

区 分	負担金の額(児童一人につき)	減免の場合	減免率
継続参加	月額2,000円(土曜参加は月額3,000円)	・ひとり親家庭の場合	1/2
	夏季休業日4,000円(土曜参加は5,000円)	・生活保護法による被保護世帯である場合	10/10
一時参加	夏季休業日5,000円(土曜参加は6,000円)	・被災世帯である場合	10/10
	冬季休業日2,000円	・その他特別な事由があると認められた場合	10/10
	学年末休業日から学年始めの休業日2,000円	・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目からの児童	1/2

2 事業実績

(単位:人)

(事業費明細)

(単位:円)

クラブ別 (学校別)	H27年度		H28年度		H29年度	
	児童数	指導員数	児童数	指導員数	児童数	指導員数
須古小	25	3	29	4	40	5
六角小	25	3	35	3	33	4
白石小	42	6	48	6	43	5
北明小	27	3	26	2	35	4
福富小	59	7	63	7	60	7
有明東小	31	4	26	4	27	4
有明西小	25	3	30	3	34	4
有明南小	16	3	16	2	15	3
計	250	32	273	31	287	36

節 名	決算額	備考(主な内容)
7.賃金	31,489,920	指導員賃金
9.旅費	9,640	普通旅費
11.需用費	1,760,225	消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料
12.役務費	332,219	携帯電話利用料、浄化槽法定検査料他
13.委託料	105,192	消防設備保守点検委託料
15.工事請負費	1,036,800	学童保育室エアコン更新 他
18.備品購入費	470,300	学童保育室用テーブル、シューズボックス等
23.償還金利子及び割引料	1,590,000	過年度放課後子どもプラン推進事業費補助金返還金
計	36,794,296	

※人数は、4月1日現在。土曜日は、合同開設で実施(六角学童クラブ)。

財源内訳(その他:放課後児童クラブ負担金)

3 事業効果

学校開設時は小学校単位に学童保育所を開設し、また長期休業時及び土曜日(合同開設)を実施することにより、利用者の利便を図ることができた。

学校代休日も開設し、保護者が安心して働くことができる環境が図られ、児童の健全育成など、仕事と子育ての両立支援を推進することができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業費			所属	保健福祉課 こども未来係
目名称	子ども・子育て支援事業費					財源内訳					
決算額	15,148					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 15,856 )					4,920	4,941			5,287	82
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実	

1 事業概要

- ◆白石町交流館内「ゆめてらす」において、地域子育て支援事業を白石町社会福祉協議会が実施する。
  - ・地域子育て支援拠点事業「ゆめひろば」……常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。  
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで  
利用料 無料
  - ・一時預かり事業「ひよこぐみ」(一般型)……一時的に家庭での保育が困難な場合にお子さんを預かる。  
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで  
利用料 町内のお子さん 1時間 300円、町外のお子さん 1時間 600円
- ◆有明ふたば保育園、有明わかば保育園、認定子ども園ありあけ幼稚園で一時預かり事業(余裕活用型、幼稚園型)を実施する。
  - ・余裕活用型は、有明ふたば保育園、有明わかば保育園で実施し、実施場所の定員の範囲内において一時的な保育を行う。
  - ・幼稚園型は、認定子ども園ありあけ幼稚園等で実施し、在園児(教育標準時間の子ども)と在園児以外の子どもの一時的な保育を行う。  
利用料は各園の規定による。(余裕活用型⇒1日利用:2,000円、半日利用:1,000円 幼稚園型⇒(例)平日預かりAコース 100円/時間ほか)

2 事業実績

ゆめてらす利用者数 (単位:人)

	【ゆめひろば】		【ひよこぐみ】	
	子ども	大人	町内	町外
H24	3,978	3,111	934	75
H25	3,915	3,044	1,104	38
H26	4,230	3,396	722	40
H27	3,052	2,420	518	12
H28	2,736	2,106	681	15
H29	2,478	1,953	833	8

保育園、幼稚園利用者数 (単位:人)

園名	有明ふたば	有明わかば	ありあけ幼稚園
利用者数	115	271	2,223

歳出 (単位:円)

節	決算額
19.負担金、補助及び交付金	14,824,700
23.償還金、利子及び割引料	323,000

3 事業効果

「ゆめひろば」では、乳幼児と保護者が一緒に遊んだり、子育ての悩みを気軽に相談したり、お互いの情報を交換したりと自由に交流できる場を提供することができた。また、「ひよこぐみ」、「保育園」、「幼稚園」での一時預かりは、家庭での保育が難しい場合に、乳幼児をお預かりすることにより、子育て世帯の支援を行った。このことにより、子育ての不安感の緩和が図られ、子どもの健やかな育ちを促進することができた。



単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	4	項	1	目	1	細事業名	不妊治療支援事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係	
目名称	保健衛生総務費					財源内訳						
決算額	1,869					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)	( 3,900 )								1,800	69		85
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節		保健・医療体制の充実	

1 事業概要

不妊に悩む夫婦に対して、医療保険が適用されず高額な費用がかかる不妊治療に要した費用の一部を助成することにより、経済的負担を軽減する。

2 事業実績

- ・助成方法 償還払い方式
- ・助成対象者 佐賀県不妊治療支援事業の対象者であり、夫婦のいずれかが町内に住民登録し、引き続き1年以上居住していること。
- ・助成対象とする不妊治療費 佐賀県不妊治療指定医療機関で実施された、戸籍上の夫婦間で行う健康保険が適用されない不妊治療費  
(平成28年度から人工授精、男性不妊治療も助成対象)
- ・助成額 医療機関で支払った不妊治療費から佐賀県不妊治療支援事業助成金額を差し引いた額の1/2以内

節	細節	実績額(円)	備 考
19.負担金補助及び交付金	不妊治療支援事業補助金	1,868,480	不妊治療支援事業補助金 申請21件(実人数12人)

※ふるさと基金 1,800千円充当

平成23～28年度事業実績

年度	申請数	実人数	町助成額(円)	出生数(参考)
23年度	18	13	1,704,265	4
24年度	22	13	1,670,385	4
25年度	16	11	1,450,846	4
26年度	13	9	968,577	2
27年度	28	17	3,148,357	5
28年度	20	14	2,321,587	5

3 事業効果

不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊治療を行う夫婦の経済的負担が軽減され、安心して子どもが産み育てられる環境を作ることができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費				所属	保健福祉課 福祉係
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	72,218					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 74,260 )						20,321	42,000	149	9,748	84・85	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節	子育て支援の充実			

1 事業概要

出生から中学生までの子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。  
 保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。  
 ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。  
 ※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。  
 ※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。  
 ※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

2 事業実績

平成29年度医療費(扶助費)支払状況

(単位：千円)

支給月	件数(件)	助成金額(円)
4月	1,765	2,520,567
5月	1,997	3,301,893
6月	2,992	4,790,195
7月	3,773	6,239,085
8月	3,564	5,784,433
9月	3,389	5,654,535
10月	3,245	5,572,643
11月	3,100	5,648,586
12月	3,529	6,150,291
1月	3,546	6,478,561
2月	4,279	7,654,106
3月	3,772	6,607,864
未熟児医療	20	466,760
重心扶助費へ	-130	-601,555
合計	38,841	66,267,964

節	決算額	説明
12. 役務費	2,874	審査手数料(国保連・支払基金)
20. 扶助費	66,268	医療費助成
28. 繰出金	3,076	現物給付に伴う国保財政影響分
計	72,218	

扶助費の内訳 (単位：千円)

未就学児	33,025
小中学生	33,243

3 事業効果

出生から中学生までの子どもに対して医療費を助成することで、子どもの疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

年度	29	会計	一般会計			細事業名	予防接種事業費	所属	保健福祉課 健康づくり係		
款	4	項	1	目	2						
目名称		予防費				財源内訳			決算書頁		
決算額 (予算額)		57,800 ( 64,114 )				国庫	県費	地方債		その他	一般財源
										57,800	85・86
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節		保健・医療体制の充実	

1 事業概要

個人の発病又は、その重症化を防止するとともに、感染症の発生及びまん延予防のため予防接種を実施する。

2 事業実績

接種区分	予防接種名	実施者数	対象者(接種回数)
個別接種	2種混合(ジフテリア・破傷風)	実 160人	11歳以上13歳未満の者(1回)
	不活化ポリオ	延 10人	生後3~90月に至るまでの間にある者(4回)
	麻しん・風しん(MR)	実 331人	I期:生後12~24月未満の者(1回) II期:5歳以上就学前まで(1回)
	BCG	実 145人	生後1歳に至るまでの間にある者(1回)
	日本脳炎	延 818人	I期:生後6~90月(3回) II期:9歳以上13歳未満(1回) 特別対象者
	Hib(ヒブ)	延 576人	生後2~60月に至るまでの間にある者(4回)
	小児用肺炎球菌	延 578人	〃
	4種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	延 597人	生後3~90月に至るまでの間にある者(4回)
	水痘	延 289人	生後12~36月に至るまでの間にある者(2回)
	B型肝炎	延 443人	1歳に至るまでの間にある者(3回)
	高齢者インフルエンザ	実 4,786人	65歳以上の者(毎年度1回) 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する者(毎年度1回)
	高齢者肺炎球菌	実 893人	平成29年4月1日~平成30年3月31日の間に65、70、75、80、85、90、95歳又は100歳となる者(1回) 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する者(1回)

予防接種助成事業(定期外)

子どもインフルエンザ予防接種:0~12歳までの者1回目1,000円2回目1,000円、13歳以上の中学生2,000円助成(実施者数:延2252人)

節	細節	実績額	備考
11.需用費	消耗品費	106,477円	予診票印刷用紙、周知用冊子他
12.役務費	通信運搬費	260,000円	郵送料
	手数料	1,005,818円	予防接種審査支払手数料
13.委託料	その他委託料	56,381,425円	予防接種委託料
20.扶助費	扶助費	46,000円	区域外での接種分(償還払い)
	計	57,799,720円	

3 事業効果

予防接種を実施することで、個人の発病や重症化を防止するとともに、感染症の発生及びまん延を予防することができた。

年度	29	会計	一般会計			細事業名	成人検診事業費					所属	保健福祉課 健康づくり係
款	4	項	1	目	2								
目名称		予防費				財源内訳					決算書頁		
決算額		19,145				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(20,507)				642	336		2,784	15,383	85・86		

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第3節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	-------------	---------------------------	-------------	------------

1 事業概要  
疾病の早期発見、早期治療につなげるため、各種検診(がん検診、結核検診、肝炎ウイルス検診)を実施する。

2 事業実績

検診項目	受診者数	対象者(年齢基準日は年度末)	実施方法
①肺がん検診	1,631人	40歳以上	集団検診
②胃がん検診	864人	40歳以上	集団検診
③大腸がん検診	1,394人	40歳以上	集団検診
④乳がん検診	733人	40歳以上の女性(2年に1回受診)	集団検診・個別検診
⑤子宮頸がん検診	1,123人	20歳以上の女性	集団検診・個別検診
⑥前立腺がん検診	643人	40歳以上の男性	集団検診
⑦結核検診	900人	65歳以上	集団検診
⑧肝炎ウイルス検診	138人	30歳以上の未受診者	集団検診
⑨骨粗鬆症検診	113人	45、50、55、60、65歳の女性	集団検診

平成29年度集団検診実施日数等

実施日数	実施場所
7月	1日間 福富ゆうあい館 ※
	5日間 総合センター
	3日間 ふれあい郷有館
10月	5日間 総合センター
2月	1日間 総合センター(レディースデー検診)

※ 7月6日福富ゆうあい館での検診は、九州北部豪雨のため中止

■無料検診対象者

胃、肺、大腸がん検診 年度末年齢が、50歳、55歳、60歳の節目年齢者

■レディースデー検診 (H30.2.8実施)

子宮頸がん検診 年度末年齢が20歳以上の女性 (予約なし)

乳がん検診 年度末年齢が40歳以上の女性 (予約制、先着定員55人)

骨粗鬆症検診 年度末年齢が、45、50、55、60、65歳の女性 (予約なし)

節	細節	実績額	備考
7.賃金	日々雇用職員賃金	271,800 円	保健師、看護師等臨時雇用賃金
11.需用費	消耗品費	82,992 円	通知等用紙代他
	印刷製本費	139,053 円	受診票等印刷代
12.役務費	通信運搬費	1,400,033 円	検診通知郵送料
13.委託料	その他委託料	17,196,162 円	各種がん検診委託料
14.使用料及び賃借料	その他使用料	47,310 円	有館空調使用料
23償還金利子及び割引料	返還金	7,000 円	前年度国庫補助金返還金
計		19,144,350 円	

財源内訳

新たながん検診総合支援事業	642,000円
佐賀県健康増進事業費補助金	336,000円
がん検診個人負担金	2,784,500円

3 事業効果

町民が自らの健康状態を知り、疾病の早期発見、早期治療につなげることができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費				所属	長寿社会課 障がい福祉係
目名称		障害者福祉費				財源内訳					決算書頁	
決算額		523,916				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	68~71	
(予算額)		(536,002)				260,930	130,465			132,521		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

1 事業概要 障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付)の支給決定・審査を行った。

2 事業実績

節	細節	実績額	内 容	
11 需用費	消耗品費	100,340	のびのび会(精神デイケア)消耗品、事務用品等	
13 委託料	その他委託料	1,482,900	支援費給付事務委託料、給付管理システム改修委託料	
14 使用料及び賃借料	支援費ソフトリース料	974,592	給付管理システムリース料	
20 扶助費	自立支援給付費	505,347,505	福祉サービス給付	
23 償還利子及び割引料	返還金	16,010,353	国庫過年度分(H28年分)	10,673,568
			県費過年度分(H28年分)	5,336,785
合 計		523,915,690	支援費確定による返還金	

20 扶助費内訳

○ 介護給付費 小計 2,011人 281,893,702円 …①	○ 訓練等給付費 小計 1,625人 205,328,776円 …②	○ 相談支援事業 ・計画相談支援給付費 396人 6,658,401円 …④
・居宅介護支援 289人 17,959,755円	・共同生活援助 409人 52,880,770円	○ 高額障害福祉サービス等給付費 12人 87,169円 …⑤
・重度訪問介護 12人 2,393,620円	・宿泊型自立訓練 1人 108,450円	
・行動援護 35人 1,748,750円	・就労移行支援 55人 7,743,030円	
・生活介護支援 778人 145,833,853円	・就労継続支援A型 187人 22,926,448円	
・短期入所 127人 6,786,446円	・就労継続支援B型 973人 121,670,078円	対象者延べ人数 4,950人
・施設入所支援 549人 49,966,248円	○ 特定障害者特別給付費	
・療養介護(福祉) 221人 57,205,030円	・補足給付費等 918人 11,379,457円 …③	
		扶助費合計 (①+②+③+④+⑤) 505,347,505円

3 事業効果 障害者(児)に必要な支援を実施することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計										
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害児通所支援給付費				所属	長寿社会課 障がい福祉係	
目名称		障害者福祉費				財源内訳					決算書頁		
決算額		49,880				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		( 52,300 )				25,664	12,832			11,384	70・71		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節		地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

- 1 事業概要 障害児を支えるための児童福祉法に基づく自宅から支援施設に通ってサービスを受ける事業について、必要な支給決定・審査を行った。
- ・児童発達支援 児童発達支援センター等に通い、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行う。
  - ・放課後等デイサービス 就学している障害児が、授業の終了後または休業日に児童発達支援センター等に通い、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行う。
  - ・保育所等訪問支援 障害児が通う保育所等の施設を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他の便宜を供与する。
  - ・医療型児童発達支援 身体に機能の障害のある児童が、医療型児童発達支援センター等に通い、児童発達支援及び治療を行う。
  - ・障害児相談支援 障害児通所支援を受給するための計画・相談、モニタリングを実施し、適切なサービス提供に資する。

2 事業実績

節	細節	実績額	内 容	
20 扶助費	自立支援給付費	49,711,168	障害児通所給付費	
23 償還利子及び割引料	返還金	168,819	国庫過年度分(H28年分) 112,546	支援費確定による返還金
			県費過年度分(H28年分) 56,273	
合 計		49,879,987		

20 扶助費内訳

○ 障害児通所支援	769人	49,690,468円	○ 高額障害児通所給付費	9人	20,700円
・児童発達支援	268人	12,737,859円	対象者延べ人数 778人		
・放課後等デイサービス	347人	34,243,390円			
・保育所等訪問支援	1人	14,289円			
・医療型児童発達支援	0人	0円			
・障害児相談支援	153人	2,694,930円			
扶助費合計				49,711,168円	

3 事業効果

障害児に必要な支援と保護により福祉の向上を図ることができた。

年度	29	会計	一般会計		単位:千円						
款	3	項	1	目	2	細事業名	重度心身障害者医療給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係
目名称	障害者福祉費					財 源 内 訳					
決算額	50,659					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 55,066 )						24,390		20,000	6,269	68・70
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

- 1 事業概要 重度の身体障害又は知的障害の方へ医療費の一部を助成することにより、保健の向上及び福祉の増進を図った。  
【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例】【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例施行規則】  
(1)申請により助成のための受給資格登録を行い受給資格証を交付する。  
(2)1月500円の自己負担額及び高額療養費等を差し引いた額を助成する。  
(3)入院時の食事療養費は自己負担とする。

2 事業実績

節	細節	実績額	内 容
7 賃金	日々雇用賃金	1,421,632	事務補助日々雇用職員 6,400円(日額)
11 需用費	消耗品費	25,093	事務用品
20 扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費	49,211,910	
合 計		50,658,635	

※ふるさと寄附金 20,000千円充当

20 扶助費内訳

○重度心身障害者医療費助成明細	対象者数	助成件数	支 弁 額	
	491人	12,125件	49,211,910円	{ 入院 909件 21,097,823円 入院外 11,216件 28,114,087円
・国民健康保険	152人	3,840件	18,276,224円	
・被用者保険	75人	1,718件	9,977,963円	
・後期高齢者医療	253人	6,437件	20,356,168円	
・子どもの医療費助成	11人	130件	601,555円	

- 3 事業効果 重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業				所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					決算書頁	
決算額	20,127					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 20,305 )							15,000		5,127	72・73・75	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

1 事業概要

多年にわたり社会の進展に寄与された高齢者に対し、長寿祝金・敬老記念品を贈呈し長寿を祝福すると共に高齢者の長寿を地域でお祝いすることで高齢社会について理解と関心を深める。

2 事業実績

節	細節	決算額	備考
8.報償費	記念品代	1,411,000	敬老記念品【最高齢5,000円×2名 喜寿3,000円×264名 米寿3,000円×194名 白寿3,000円×9名】
11.需用費	消耗品費	65,838	百歳高齢者お祝い状用額縁、花束、封筒
12.役務費	通信運搬費	331,802	敬老記念品送付簡易書留料、長寿祝金通知
19.負担金補助及び交付金	補助金	5,617,931	地域敬老事業助成金【88団体(75歳以上人数4,702人×@1,200円)－24,469円(返還金)＝5,617,931円】
20.扶助費	扶助費	12,700,000	長寿祝金【80歳10,000円×299人 85歳15,000円×250人 90歳20,000円×141人 95歳30,000円×53人 100歳以上50,000円×31人】
計		20,126,571	

敬老会出席状況

年度	対象者数	出席率		
20年度	4,425人	16.4%	・町主催敬老会	
21年度	4,480人	13.3%		
22年度	4,580人	54.0%		
23年度	4,685人	55.7%	・地域敬老会	実施団体数 82団体
24年度	4,706人	55.0%		実施団体数 87団体
25年度	4,688人	54.9%		実施団体数 87団体
26年度	4,677人	56.0%		実施団体数 87団体
27年度	4,681人	54.8%		実施団体数 87団体
28年度	4,739人	52.2%		実施団体数 88団体
29年度	4,702人	54.5%		実施団体数 88団体

3 事業効果

地域で高齢者の長寿をお祝いすることで、地域の一体感と高齢社会への関心が高まると共に、高齢者の生活意欲の向上効果が見られ、福祉の向上が図られた。



年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域介護・福祉空間整備推進事業			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					
決算額	1,418					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 1,418 )					1,418				0	75
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

### 1 事業概要

高齢者施設等の防犯対策強化に必要な防犯カメラや人感センサー、非常通報装置、侵入防止フェンス等を設置するために必要な機器等を導入する介護サービス事業者に対してその経費を支援する。

補対象経費	対象事業
以下を施設等の防犯対策を目的とした施設等の整備事業であること ①フェンス(境界を作り、人が容易に敷地内に接近することを防ぐ効果があるもの) ②110番直結非常通報装置 ③カメラ付きインターホン ④防犯カメラ ⑤人感センサー ⑥その他、これらと同様の防犯効果が見込まれるもの	・既存高齢者施設等の防犯対策を目的とした施設等の整備事業であること ・1件につき総事業費の下限は30万円以上とする

### 2 事業実績

節	細節	補助額	備考
19・負担金補助及び交付金	補助金	900,000	A事業所 防犯カメラ設置工事 工事費2,171,880円 補助基準額1,800,000円 補助額1,800,000×1/2=900,000円
19・負担金補助及び交付金	補助金	518,000	B事業所 防犯カメラ設置工事 工事費1,036,800円 補助基準額1,800,000円 補助額1,036,800×1/2=518,000円(千円未満切り捨て)

【歳入】平成29年度(平成28年度からの繰越分)地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 1,418,000円

### 3 事業効果

介護施設の防犯対策を強化することにより、外部からの侵入者の早期発見、通報、対処が可能となり、利用者の安全を確保し関係者が安心してケアを行うことができるようになり、安全性の確保に資することができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域共生ステーション防犯対策整備事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					
決算額	801					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 801 )						400			401	75
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

1 事業概要

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金(国事業)の対象とならない町内の地域共生ステーション(宅老所、ぬくもいホーム)利用者の安全を確保し、関係者が安心して利用者のケアを行うことができるように、外部からの侵入に対する防犯対策の設備等を整備する事業者に対して支援を行う。

補対象経費	補助率等
以下を地域共生ステーションに整備するために必要な経費 ①フェンス(境界を作り、人が容易に敷地内に接近することを防ぐ効果があるもの) ②110番直結非常通報装置 ③カメラ付きインターホン ④防犯カメラ ⑤人感センサー ⑥その他町が必要と認めたもの	対象経費の2/3以内 (ただし、補助金の限度額は600千円) 補助対象経費の総額が30万円以上であること

2 事業実績

節	細節	補助額	備 考
19. 負担金補助及び交付金	補助金	600,000	A事業所 防犯カメラ設置工事・人感センサー設置工事 工事費934,200円×2/3=622,800円(限度額600,000円)
19. 負担金補助及び交付金	補助金	201,000	B事業所 防犯カメラ設置工事 工事費302,400円×2/3=201,600円(千円未満端数切り捨て201,000円)

【歳入】平成29年度佐賀県地域共生ステーション防犯対策整備事業費補助金 400,000円  
町が補助した額の1/2以内

3 事業効果

地域共生ステーション(宅老所、ぬくもいホーム)の外部からの侵入に対する危機管理の観点から防犯対策を強化することにより、利用者の安全を確保し、関係者が安心してケアを行うことができるようになり、安全性の確保に資することができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護保険事業費				所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳					決算書頁	
決算額	439,245					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 439,245 )									439,245	74・75	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

### 1 事業概要

加齢によっておこる心身の変化に起因する疾病により、日常生活を営むうえで介護が必要な人に、その人の能力に応じ必要な居宅サービス及び施設サービスに係る給付を行う。3市4町の構成による杵藤地区広域市町村圏組合が保険者となり、介護保険事業を実施し運営する。  
構成市町は、介護給付及び予防給付等に関する費用の一部を負担する。(保険料50%、国25%、県12.5%、町12.5%)

### 2 事業実績

人口 23,465人    65歳以上の人口 7,760人(高齢化率33.1%)    平成30年3月31日現在  
要介護・要支援者数 1,594人(認定率 20.5%)

介護給付費 2,861,771,255円/年

歳入 平成28年度介護保険市町村負担金返還金 7,537,698 円  
介護保険低所得利用者助成事業費補助金 675,000 円  
過年度低所得者保険料軽減負担金 17,043 円

歳出 介護保険事業費負担金 439,245,000 円 (19.負担金補助及び交付金)  
社会福祉法人等による軽減補助金 768,613 円 (19.負担金補助及び交付金)  
平成28年度介護保険利用者助成事業費補助金返還金 192,000 円 (23.償還金、利子及び割引料)

### 3 事業効果

保険者に対して、介護保険法に基づく必要額を支出し、介護保険事業の安定的運営を図ることができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防普及啓発事業費				所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					決算書頁	
決算額 (予算額)	10,879 ( 11,732 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	72~74	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

1 事業概要

介護予防に向けた取り組みが、住民主体で実施されるような地域を目指して、健康教育、健康相談等の取り組みを通して、介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。

2 事業実績

節	細節	決算額	内 容
7. 賃金	日々雇用職員賃金	221,462	教室での健康チェック(看護師等)
8. 報償費	講師謝金	689,000	教室、出前講座等での講師謝金(理学療法士・歯科衛生士等)
11. 需用費	消耗品費	421,682	介護予防教室用消耗品、オレンジリング等
	燃料費	105,220	公用車ガソリン代
	印刷製本費	943,920	健康体操パンフレット、介護予防手帳
12. 役務費	通信運搬費	17,103	通知用郵便料
13. 委託料	その他委託料	8,267,263	介護予防教室委託料(シルバー教室、しゃきっと教室、水中運動、健康アップ、運動指導)
			高齢者の健康づくり事業委託料
			地域サロンモデル事業委託料
14. 使用料及び賃借料	その他使用料	213,570	介護予防普及用DVD作成、健康体操放送業務委託
			爽明館使用料
計		10,879,220	

3 事業効果

介護予防に関する知識の普及啓発とともに、継続した運動の必要性を体感され、自主的な取り組みにつながるなど、介護予防の意識が変わってきている。

年度	29	会計	一般会計								単位:千円	
款	3	項	1	目	3	細事業名	生活支援体制整備事業				所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳					決算書頁	
決算額	7,328					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 8,000 )								7,328	0	72・73	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			

### 1 事業概要

平成27年度の介護保険制度改正に伴い、杵藤介護保険事務所管内が平成29年から新しい介護予防・日常生活総合事業に移行されることになった。  
一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等さまざまな高齢者が生きがいを持ちながら生活継続するための生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組み。  
生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。

### 2 事業実績

節	細 節	決 算 額	備 考
8. 報償費	その他報償費	60,000	生活支援体制整備第1層協議体連絡会報償費
11. 需用費	消耗品費	85,729	事務用品
13. 委託料	その他委託料	7,181,824	白石町生活支援体制整備事業に係る委託契約(生活支援コーディネーター設置等委託)
計		7,327,553	

【委託業務名】平成29年度白石町生活支援体制整備事業に係る委託契約

【委託者】社会福祉法人 白石町社会福祉協議会

【委託期間】平成29年7月1日～平成30年3月31日

### 3 事業効果

社会福祉協議会への委託により、生活支援コーディネーターを社会福祉協議会へ3名配置し、新たなサービスの開発やボランティアの担い手育成に取り組むことで、高齢者の社会参加および生活支援・介護予防の充実を推進する体制が図られた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目名称	塵芥処理費				財源内訳					決算書頁	
決算額	95,656				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 95,657 )							39,382	56,274	89	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第5章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第2節	環境にやさしいまちづくり			

1 事業概要

白石町行政区域全体を6ブロック(A1、A2、B、C、D、Eブロック)に区分して、さが西部クリーンセンターに搬入可能な一般廃棄物の「もえるごみ」、「もえないごみ」、「粗大ごみ」の3品目の収集・運搬の業務委託を行う。

2 事業実績

節	内 容	金額	業 務 量			収集実績
			収集品目	収集回数	集積所数	
13. 委託料	A1及びB～Dブロックのごみ収集運搬業務委託	64,994,400円	可燃ごみ	週2回	188ヶ所	2,673.3t
			不燃ごみ	月1回	188ヶ所	151.6t
			粗大ごみ	月1回	137ヶ所	53.2t
	A2ブロックのごみ収集運搬業務委託	13,014,000円	可燃ごみ	週2回	31ヶ所	542.3t
			不燃ごみ	月1回	31ヶ所	37.1t
			粗大ごみ	月1回	31ヶ所	12.3t
	Eブロックのごみ収集運搬業務委託	17,647,200円	可燃ごみ	週2回	53ヶ所	775.7t
			不燃ごみ	月1回	53ヶ所	59.0t
			粗大ごみ	月1回	10ヶ所	15.1t
計		95,655,600円				4,319.6t

財源内訳その他への充当内容

ごみ処理手数料	38,343,900円
一般廃棄物処理業の許可申請手数料のうちごみ関係	35,000円
遠距離搬入補助金	1,002,785円
計	39,381,685円

3 事業効果

安定的かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化の推進、ごみ出しのルールの周知により衛生的な生活環境の向上が図れた。

年度	29	会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物再商品化事業			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目名称	塵芥処理費					財源内訳					
決算額	3,322					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 3,599 )									3,322	88・89
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第5章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第2節	環境にやさしいまちづくり			

### 1 事業概要

収集した容器包装廃棄物について、容器包装リサイクル法の分別基準に基づく、選別、圧縮・梱包等の分別基準適合化処理を業務委託する。  
さらに、分別基準適合物についてはリサイクル協会へ再商品化処理を業務委託する。  
なお、有価物としての付加価値が高い指定物(牛乳パック、スチール・アルミ缶)については売却処理する。

### 2 事業実績

節	品目	内容	処理数量	金額		備考
11.需用費	消耗品	牛乳パック回収用袋		8,748円	8,748円	
13.委託料	PET	ペットボトル分別基準適合化処理業務委託	31.9t	689,256円	689,256円	分別・圧縮・梱包し、協会引渡し
	カン	缶類分別基準適合化処理業務委託(白石・福富地域)	12.4t	174,568円	329,998円	スチールとアルミに分別・圧縮し、有価物として売却処理
		缶類分別基準適合化処理業務委託(有明地域)	4.7t	155,430円		
	ビン	ガラスびん分別基準適合化処理業務委託	88.2t	2,239,520円	2,293,656円	無色・茶色・その他の色に分別し、協会引渡し
びん再商品化処理業務実施契約		84.4t	54,136円			
計				3,321,658円		

### 3 事業効果

収集した容器包装廃棄物を再資源化・再商品化することで、ごみの最終処分量の減量を図り、資源として有効利用が図れた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物収集運搬事業			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目名称	塵芥処理費					財源内訳					
決算額	6,048					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 6,050 )								3,141	2,907	88・89
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第5章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第2節	環境にやさしいまちづくり			

1 事業概要

白石町行政区域全体を白石有明地域と福富地域の2ブロックに区分して、分別収集計画の対象品目である資源ごみ(容器包装廃棄物)の収集・運搬の業務委託を行う。

2 事業実績

節	内容	金額	業務量			収集実績
			収集品目	収集日	集積所数	
13.委託料	白石有明地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	4,881,600円	PET	毎月第1水曜日	219ヶ所	27.4t
			カン	毎月第2水曜日	219ヶ所	14.8t
			ビン	毎月第3水曜日	219ヶ所	79.5t
	福富地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	1,166,400円	PET	毎月第3日曜日	10ヶ所	4.5t
			カン			2.3t
			ビン			8.7t
		6,048,000円				137.2t

財源内訳その他への充当内容

PETボトル収益市町村分配金	1,347,748円
再商品化合理化拠出金	10,179円
資源ごみ売却収入のうち資源物収集報償費を差し引いた分	1,783,533円
計	3,141,460円

3 事業効果

ペットボトル・カン・ビンの安定的かつ効率的な収集・運搬を実施し、リサイクルに取り組むと共に、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上が図れた。



年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	4	項	3	目	1	細事業名	上水道高料金対策補助金			所属	水道課 庶務係
目名称	上水道費					財源内訳					
決算額	59,267					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 59,268 )									59,267	89
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第1節	生活基盤の充実			

### 1 事業概要

自然条件等により建設改良費が割高になり、資本費の増高によって給水原価が押し上げられ、高水準の料金設定をせざるを得ない水道事業について、料金格差の縮小に資するため、資本費の一部について繰り出すものである。  
 なお、補助金額は前々年度における有収水量 1m<sup>3</sup>当りの資本費及び給水原価が基準の要件を満たす場合、資本費のうち基準額を超える額に前々年度の有収水量を乗じて算出する。

平成29年度の基準 資本費 1m<sup>3</sup>あたり144円以上  
 給水原価 1m<sup>3</sup>あたり251円以上

### 2 事業実績

平成27年度決算における、1m<sup>3</sup>あたりの資本費、給水原価及び有収水量

資本費	給水原価	年間総有収水量	19.負担金補助及び交付金
179.51円	326.70円	1,669,030m <sup>3</sup>	(179.51-144)×1,669,030=59,267千円

### 3 事業効果

高料金対策補助金の繰出しを行うことにより、水道事業において高水準の料金設定をせざるを得ない料金の抑制が図られた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業費				所属	下水道課 下水管理係
目名称	下水道費					財源内訳					決算書頁	
決算額	37,778					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 37,821 )					8,579	7,308			21,891	91	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適なすみよいまち			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実		

1 事業概要

公共用水域の水質汚濁の原因に、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が、大きな原因の一つになっている。家庭において設置される浄化槽の経費の一部を補助し、浄化槽の整備を推進することにより、水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業実績

(単位:千円)

区分	H29年度実績	左の財源内訳			
		国庫補助金	県補助金	その他	一般財源
19.負担金補助 及び交付金	浄化槽普及促進協議会会費	20			20
	浄化槽普及促進協議会負担金	34			34
	浄化槽設置整備事業補助金	37,724	8,579	7,308	21,837
計	37,778	8,579	7,308	0	21,891

平成29年度浄化槽設置整備事業補助金の内訳 (単位:千円)

区分	国基準額	町上乘額	計	実績基数	補助金額実績
5人槽	332	268	600	10	6,000
7人槽	414	306	720	37	26,640
10人槽	548	372	920	6	5,084
11~20人槽	939	0	939		0
21~30人槽	1,472	0	1,472		0
31~50人槽	2,037	0	2,037		0
計				53	37,724

(単位:基)

区分	平成28年度 までの基数	平成29年度 の実績基数	平成29年度末 基数
5人槽	224	10	234
7人槽	1,253	37	1,290
10人槽	382	6	388
11~20人槽	17		17
21~30人槽	17		17
31~50人槽	9		9
計	1,902	53	1,955

3 事業効果

浄化槽設置を促進し、公共用水域の水質汚濁防止を図った。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計			細事業名	公共下水道接続促進事業費				所属	下水道課 下水管理係
款	4	項	4	目	1							
目名称	下水道費					財源内訳					決算書頁	
決算額 (予算額)	2,604 ( 3,078 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章			ゆとりある快適なすみよいまち			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実	

### 1 事業概要

特定環境保全公共下水道の供用開始後3年以内に行う受益者の排水設備工事に助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全の早期実現を可能とする。また、下水道経営安定化を早期に目指す。

#### 助成条件

- 家庭からの生活排水を下水道等に流入させるための宅地内排水管や汚水樹などの排水設備工事を対象  
対象住宅：自ら所有し居住する住宅(新築住宅を除く)  
対象工事：白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事

#### 助成額

- 補助率 10% 上限額 供用開始後 1年目10万円、2年目7.5万円、3年目5万円

### 2 事業実績

#### 19.負担金補助及び交付金

区分	H29年度
補助金額	2604千円
申請件数	47件

### 3 事業効果

下水道等の目的が早期に達成でき、設置した施設の遊休化が避けられ、維持管理を含む経営の安定化を図った。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	02	項	01	目	08	細事業名	しろいし農業塾				所属	農業振興課 振興係
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁	
決算額	10,197					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 12,781 )								10,100	97	54	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興			

1 事業概要

県外の地域から生活の拠点を移した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業研修生として支援を受けながら農業関係の研修に取り組み、農業による自立と地域への定着を図る。研修生を補佐するために受入れ農家と行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。

- ・ 研修生2名：20歳以上40歳未満の心身ともに健康で、白石町に住居を移動でき、研修後は町内で農業経営をし、白石町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人
- ・ 指導員2名：町内在住で研修生への指導・助言等が出来る人
- ・ 研修期間：平成29年4月1日～平成31年3月31日の2年間

2 事業実績

19節 負担金補助及び交付金

しろいし農業塾補助金 10,197,121円

項目	金額	項目	金額	項目	金額
労災保険料	71,980	県外視察研修旅費	100,000	健康診断受診料	18,760
雇用保険料	44,880	指導員・研修生ガソリン代	201,960	住宅敷金・保険・仲介料	309,000
健康保険料	581,574	事務用消耗品等	22,767	住宅家賃	1,246,000
厚生年金保険料	1,006,618	小農具費	10,026	車両リース料	712,800
児童手当拠出金	12,426	新聞広告料	16,200	事務室借上げ料	129,600
指導員2名賃金	1,440,000	傷害共済保険料	32,000	研修生募集イベント出展料	162,000
研修生4名賃金	3,354,952	車両任意共済保険料	152,400	住宅家賃敷金等清算金	▲ 28,000
受入れ農家謝金	231,000	住宅保険・仲介手数料	183,640	傷害共済保険料返戻金	▲ 16,000
研修生募集イベント旅費	156,210	振込手数料	44,388	預金利息	▲ 60
				歳出合計	10,197,121

※ふるさと基金 10,100千円充当

3 事業効果

農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。  
(1期生から通算し、研修生の家族を含め現状14名の人口増)

年度	29		会計	一般会計							単位:千円	
款	06	項	01	目	02	細事業名	新規就農・経営継承総合支援事業				所属	農業振興課 振興係
目名称		農業総務費				財源内訳					決算書頁	
決算額		28,513				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 28,520 )					28,500			13	95	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節		農林水産業の振興	

### 1 事業概要

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農総合支援事業を推進する。

#### ○ 農業次世代人材投資資金(経営開始型)

①人・農地プランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者(単なる親元就農は対象外)が対象となる。

②交付金額については、

- 平成26年度までに経営開始型の承認申請をした者は、年間150万円を交付する。ただし、前年の所得が250万円以上ある場合は交付しない。

- 平成27年度以降に経営開始型の承認申請をした者は、経営開始初年度は150万円交付する。2年目以降は前年の所得により金額が変動する。ただし、前年の所得が350万円以上ある場合は交付しない。

③交付期間は最長5年間

### 2 事業実績

11節 需用費 事務用消耗品 12,513円

19節 負担金補助及び交付金 農業次世代人材投資資金(経営開始型) 28,500,000円

・既給付者分(平成24年度～28年度新規就農者)

平成29年度1回給付対象者 5人×750,000円=3,750,000円

平成29年度2回給付対象者 8人×1,500,000円=12,000,000円

平成29年度2回給付対象者 2人(夫婦)×1,125,000円=2,250,000円

・平成29年度新規就農者分

6人×1,500,000円=9,000,000円

2人×750,000円=1,500,000円

### 3 事業効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	06	項	01	目	03	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業費			所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					
決算額	89,437					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 95,294 )						73,365			16,072	96
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興			

1 事業概要

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。

このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者等を育成することにより、儲かる園芸農業を確立する。

○実施期間 平成26年度～30年度(5年間)

○補助率 原則 県1/3以内、町1/10以上

○実施主体 2戸以上の農業者が組織する団体、新規就農者等

※新規就農者等の取組や革新的技術の導入の取組(県1/2以内、町1/10以上)

※脱石油・省石油対応ハウス、猛暑対応ハウス等の取組(県4/10以内、町1/10以上) 他

2 事業実績

19. 負担金補助及び交付金 さが園芸農業者育成対策事業費補助金 89,437,000円

区分	事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	総事業費 (千円)	財源内訳		
							県費	町費	事業主体
施設園芸	高設栽培	いちご	7	82	8,188m <sup>2</sup>	78,359	39,175	7,839	31,345
	パイプハウス	いちご、小ネギ、アスパラガス	4	39	3,871m <sup>2</sup>	23,380	10,794	2,340	10,246
	ハウスの長寿命化対策	いちご	2	35	3,468m <sup>2</sup>	2,495	831	250	1,414
	省エネ対策(自動開閉装置等)	いちご	3	47	3,826m <sup>2</sup>	3,799	1,266	380	2,153
	包装機、光合成促進装置	いちご	2	43	2台	2,413	804	242	1,367
	循環扇	花き	1	46	25台	1,701	567	171	963
露地園芸	収穫機	れんこん	4	836	4台	10,630	4,816	1,044	4,770
	定植機、運搬車	レタス	3	600	4台	5,091	2,544	511	2,036
	軽量鉄骨ハウス	レタス、キャベツ	1	5	452m <sup>2</sup>	5,443	2,721	545	2,177
	定植機、運搬車	キャベツ	13	855	4台	4,247	1,415	425	2,407
	堆肥散布機	キャベツ、たまねぎ	1	850	1台	1,191	595	120	476
	定植機、収穫機、運搬車	たまねぎ	16	2,090	9台	14,062	5,162	1,401	7,499
	定植機、播種機	たまねぎ	6	640	2台	6,131	2,043	614	3,474
調整機、選別機	たまねぎ	2	200	2台	1,898	632	190	1,076	
合計(事業主体数 30)	-	-	65	6,368	-	160,840	73,365	16,072	71,403

3 事業効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	06	項	01	目	03	細事業名	玉葱生産安定対策事業				所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	5,396					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 6,467 )						2,709			2,687	95~97	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興			

### 1 事業概要

ここ数年、町内を中心に発生が多く問題となっている玉葱べと病の総合的な防除対策を早急に確立し、地域と関係機関が一体となって、被害の軽減対策に取り組む。

◇経営継続のための借入資金の利子補給補助の実施

最低利息の0.1%を助成

◇越年罹病株の抜き取りの普及徹底及び処分

白石町野菜病害虫防除推進協議会が実施する越年罹病株抜き取りに係る焼却・収集運搬費助成(県1/2補助)

◇玉葱べと病の対策(平成29~31年度)として、ポイントとなる土づくり・排水対策の推進。

土づくり用機械及び排水対策用機械導入に対する支援。

### 2 事業実績

11節 需用費 事務用消耗品 11,338円

12節 役務費 利子補給事務手数料 137,274円

19節 負担金補助及び交付金

べと病対策借入資金利子補給金 256,538円

白石町野菜病害虫防除推進協議会負担金 228,000円 (会議費用弁償、チラシ印刷、防除対策パンフ印刷、研修会開催など)

白石町野菜病害虫防除推進協議会負担金(29年産罹病株処分経費、町単) 726,167円

玉葱べと病緊急特別対策事業費補助金(30年産罹病株処分経費、県1/2補助) 1,763,132円 (県費816,000円)

玉葱べと病緊急特別対策事業費補助金(機械助成、県1/2、町1/10補助) 2,274,000円

事業内容	事業主体		事業量	総事業費 (円)	財源内訳		
	対象者	戸数			県補助金	町費	事業主体
粗耕起作業機	農業者	1	1	495,000	247,000	50,000	198,000
	任意組合	3	1	495,000	247,000	50,000	198,000
有機肥料散布機	農業者	1	1	350,000	175,000	35,000	140,000
	任意組合	2	1	299,160	149,000	30,000	120,160
サブソイラ	農業者	1	1	470,000	235,000	47,000	188,000
	任意組合	11	4	1,682,760	840,000	169,000	673,760
合計		19	9台	3,791,920	1,893,000	381,000	1,517,920

### 3 事業効果

玉葱の主力産地である責任と白石ブランドの信頼確立に向けて、30年産玉葱の作付において生産意欲の向上、安定生産を実現し、所得の安定を図った。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	06	項	01	目	03	細事業名	産地パワーアップ事業				所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	9,108					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 11,331 )						8,343			765	96	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 事業概要

「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、農業の国際競争力強化を図るために地域の営農戦略として「産地パワーアップ計画」を策定し、産地の収益力強化などを図る。  
玉葱べと病の対策として、ポイントとなる土づくりや排水対策を推進するため、必要となる機械に支援を行う。

- 「産地パワーアップ計画」実現のために必要な機械のリースや導入、施設の整備などに対し補助を行う。
- 農業機械のうち「たまねぎ」に関するもの 補助率 国:1/2以内 県:1/20以内 町:1/20以内
  - 農業機械 補助率 国:1/2以内
  - 施設等 補助率 国:1/2以内

2 事業実績

19節 負担金補助及び交付金 産地パワーアップ事業費補助金 9,108,000円

事業内容	事業実施 主体数	事業量	総事業費 (円)	財源内訳			事業主体
				国補助金	県補助金	町費	
もみ殻暗渠施工機	8	8台	6,885,000	3,183,000	315,000	323,000	3,064,000
トラクターカルチ	1	1台	700,000	324,000	32,000	33,000	311,000
粗耕起作業機	2	2台	1,128,800	522,000	51,000	53,000	502,800
有機肥料散布機	1	1台	561,600	260,000	26,000	26,000	249,600
レーザーレベラー	1	1台	7,128,000	3,300,000	330,000	330,000	3,168,000
合計	13	13台	16,403,400	7,589,000	754,000	765,000	7,295,400
				9,108,000			

3 事業効果

玉葱の主力産地である責任と白石ブランドの信頼確立に向けて、玉葱の収量、品質を向上させ、所得の安定を図る。



年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	5	細事業名	さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費			所属	農業振興課 農政係	
目名称		米政策対策費				財源内訳					決算書頁	
決算額		9,391				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97	
(予算額)		( 9,391 )					7,222			2,169		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興				

### 1 事業概要

水田農業の担い手である集落営農組織等の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりの実現を図るため、低コストで効率的な経営が可能となる施設・機械の導入に対し、助成を行う。

### 2 事業実績

#### 施設・機械導入実績

地区	事業主体	事業内容	事業量	能力等	参考事業費(決算額)				
					標準事業費	県費	町費	実施主体	計
有明干拓	農事組合法人(1団体)	農業用機械倉庫	1棟	120.0㎡(鉄骨造)	7,166	2,388	717	5,859	8,964
竜王	A営農組合	大豆コンバイン	1台	2条刈	7,252	2,417	726	4,633	7,776
南有明	B営農組合	大豆コンバイン	1台	2条刈	7,252	2,417	726	4,633	7,776
合計					21,670	7,222	2,169	15,125	24,516

区分	決算額	説明
19. 負担金、補助及び交付金	9,391	農業用機械倉庫1棟、大豆コンバイン2台

補助率:県費1/3、町費1/10(ただし、機械・施設によって標準事業費が設定されており、標準事業費に対する補助となる。)

### 3 事業効果

機械の大型化、共有化による農作業の省力化、低コスト化が可能となり、集落営農組織等の経営に資することが出来た。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	5	細事業名	佐賀県集落営農組織法人化推進事業費			所属	農業振興課 農政係	
目名称		米政策対策費				財源内訳					決算書頁	
決算額		2,056				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 2,056 )					2,056			0	97	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興			

1 事業概要

農業従事者の高齢化や後継者不足による担い手の減少が進む中、本町水田農業の重要な担い手である集落営農組織の法人化を加速的に推進し、法人化後の経営安定に向けた支援を行う。

2 事業実績

・集落営農法人の設立初期において新たに必要となった経費への補助

①一般タイプ：補助率1/2以内(1法人当たり上限 70万円)

②交換分合タイプ：補助率2/3以内(おおむね2ha以上の交換分合を行った場合、1法人当たり上限100万円)

※1 複数の組織が統合した法人の場合は、「統合前組織数×上限額」で算出し、①、②いずれも最大700万円。

※2 機械等を購入する場合は、上記の1/2まで。

19. 負担金、補助及び交付金

地区名	法人数	構成集落営農数	事業内容		総事業費	県費(決算額)
北有明地区	1	15組織	一般タイプ	パソコン、事務所内装費等	2,823	1,411
六角地区	1	1組織	一般タイプ	パソコン、プレハブ代等	1,292	645
合計	2	16組織			4,115	2,056

3 事業効果

法人化後の経営安定化に向けた支援を行ったことにより、経営の複合化、6次産業化、オペレーターの確保、農地の受け皿機能の強化など、集落営農組織では叶わなかった経営発展に寄与することができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	5	細事業名	直接支払推進事業費				所属	農業振興課 農政係
目名称		米政策対策費				財源内訳					決算書頁	
決算額		9,607				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 9,607 )					8,536			1,071	97・98	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興			

### 1 事業概要

農業再生協議会を中心に、米価安定のため、米生産の目安に基づき需給調整を行うとともに、経営所得安定対策等の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図り、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等の取り組みを促進する。

### 2 事業実績

・白石町農業再生協議会が行う事業に対する補助金

経営所得安定対策の普及・推進活動、生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作付面積等の確認  
 農業者の水田情報等のシステム入力、農地集積・規模拡大、集落営農組織の法人化推進、協議会の運営

・再生協議会の事業内容

区 分	決算額	説 明
委員報償	184	協議会等委員報償費
旅費	3	監事費用弁償
事務等経費	4,083	消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃金・農地情報システムリース料
委託料	4,806	転作確認事務委託(現場確認、申請書類等の配布、回収)、農地情報システム保守委託料
補助金	72	町内の個別担い手により結成された水田農業担い手研修会への補助金
返還金	459	H29年度過年度返還金(221千円)+H30年度返還金予定額(238千円)再生協議会 → 町一般会計 → 県
合 計	9,607	(直接支払推進事業、担い手育成総合支援事業分)

・一般会計分

区 分	決算額	説 明
19. 負担金、補助及び交付金	9,386	白石町直接支払推進事業費補助金
23. 償還金利子及び割引料	221	平成29年度佐賀県直接支払推進事業費返還金
合 計	9,607	

### 3 事業効果

米の需給調整及び経営所得安定対策に基づく転作作物の定着を推進し、地域の実情に応じて取り組むことが出来る産地交付金の活用など、水田農業の健全な発展に貢献することが出来た。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	06	項	01	目	06	細事業名	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (繰越明許)			所属	農業振興課 振興係
目名称	畜産業費					財源内訳					
決算額	51,582					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 53,467 )						44,215			7,367	98
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興		

1 事業概要

白石地域内の肉用牛生産農家は、減少傾向にある中で、一貫経営農家1戸が80頭の増頭計画があり、更に繁殖基盤を強化することが、今後、世界に誇る「佐賀牛」の繁殖基地としての地位を確立することに繋がることから、消費者が求める高品質で、安全・安心な畜産物の生産拡大により、佐賀産畜産物の銘柄を確立する。

- 繁殖部門の規模拡大を行うために、80頭規模の繁殖牛舎の整備及び飼養管理技術の改善に努め、「佐賀牛」の出荷率を高める事業費に対して助成する。
- 事業主体 白石地域畜産クラスター協議会(構成員:JAさが白石畜産事業所、白石町、杵藤農林、杵島FC、畜産農家(中心的経営体))
- 補助率 国 1/2以内 県 1/10以内 町 1/10以上

2 事業実績

19節 負担金補助及び交付金 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 51,582,000円(29年度からの繰越)

【白石地域畜産クラスター協議会】

機械・施設	事業量	総事業費	財源内訳			実施主体
			国庫補助金	県費補助金	町費	
繁殖母牛舎建設 木造2棟	933m <sup>2</sup>	24,872,249	11,591,000	2,318,000	2,318,000	8,645,249
分娩舎、育成舎建設 木造2棟	990m <sup>2</sup>	29,966,815	12,296,000	2,459,000	2,459,000	12,752,815
哺乳舎建設 木造1棟	296m <sup>2</sup>	9,647,641	3,689,000	737,000	737,000	4,484,641
付帯設備(スタンション、哺乳ロボット等)		6,831,384	2,148,000	429,000	429,000	3,825,384
堆肥舎建設 木造1棟	368m <sup>2</sup>	9,048,922	4,772,000	954,000	954,000	2,368,922
堆肥舎付帯設備、堆肥攪拌機	1基	4,180,349	2,352,000	470,000	470,000	888,349
外構通路等	167m <sup>2</sup>	5,436,640	0	0	0	5,436,640
合計		89,984,000	36,848,000	7,367,000	7,367,000	38,402,000
			51,582,000			

3 事業効果

繁殖部門の規模拡大を行うために、80頭規模の繁殖牛舎の整備の経費の一部を補助することにより、安全・安心な畜産物の生産拡大を図り、「佐賀牛」ブランドの確立に資することができる。

年度	29	会計	一般会計								単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費				所属	産業創生課 商工観光係
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁	
決算額 (予算額)	641,352 ( 652,231 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	52・53・55	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本計画 第6章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第2節	健全な行財政運営の推進				

### 1 事業概要

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」によるふるさと寄附金を積み立て翌年度以降の事業費に充てる。また、寄附者に対し返礼品を送付する事業を白石町特産物PR推進協議会に委託し、特産物を贈ることにより本町特産物のPR推進を図る。

### 2 事業実績

#### 寄附件数・金額

H29	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	件数(件)		1,851	1,453	1,069	803	622	760	1,329	3,354	15,556	2,479	3,671	6,497
金額(円)		17,530,119	19,095,000	12,732,000	11,098,000	7,133,000	9,615,000	13,831,000	38,002,000	159,514,001	19,648,000	34,470,001	48,196,000	390,864,121

節	細節	決算額(円)	主な支出内容
07. 賃金	日々雇用職員賃金	1,233,561	臨時職員賃金
08. 報償費	ふるさと応援寄附者謝礼	629,100	町パンフレット・配布用シール他
09. 旅費	普通旅費	408,040	職員旅費(首都圏)
11. 需用費	消耗品費	267,103	事務用品・ハガキ用宛名シール
	印刷製本費	907,470	返信用封筒・お礼チラシ印刷
12. 役務費	通信運搬費	6,352,974	証明等郵送費
	広告料	24,778,580	専用サイト・新聞等広告費
	手数料	2,369,075	クレジット決済手数料
13. 委託料	その他委託料	208,088,045	特産品配送委託料・広告委託料
14. 使用料及び賃借料	事務機器リース料	1,315,440	ふるさと納税システム賃借料
25. 積立金	元金積立金	394,404,121	ふるさと基金元金積立金
	利子積立金	598,848	ふるさと基金利子積立金

#### 【参考】過年度の寄附件数金額

年度	件数	金額(円)
20年度	12	1,485,000
21年度	11	1,480,000
22年度	11	1,625,000
23年度	14	1,790,000
24年度	12	1,613,000
25年度	14	2,754,000
26年度	36	7,511,000
27年度	10,826	135,079,479
28年度	22,463	261,623,483

※その他財源 ふるさと寄付金390,864千円、ふるさと基金110,000千円

### 3 事業効果

全国約4万人の方々より御寄附をいただいた。寄附額も3億9千万円を超え本町の財政運営に寄与することができた。また、当該事業を通じてインターネットや新聞等に本町特産物のPRをしたことで、特産物ブランド化に向けた活動もおこなうことができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)			所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
決算額	9,095					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 9,200 )									9,095	52~54
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活力と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出			

1 事業概要 昨年に引き続き地域おこし協力隊員の協力を受け、道の駅しろいしに関連してくる事業に対し、貴重な意見等を聞きながら観光資源の発掘、地域の活性化を目指す。また、新たな6次産品の開発を支援するため、「売れる加工品づくり講座」を開催し、アドバイザーの助言及び地域おこし協力隊の協力を得ながら新商品開発を進めていく。

2 事業実績 ・地域おこし協力隊 1名継続  
・外部アドバイザー招聘業務 1社委託

(円)

項目	内容	決算額
1.報酬	地域おこし協力隊員報酬	2,292,108
4.共済費	地域おこし協力隊員共済費	316,751
9.旅費	普通旅費(研修等)	219,530
11.需用費	消耗品費	14,312
	燃料費	85,711
12.役務費	インターネット回線使用料	74,688
13.委託料	外部アドバイザー委託料	5,000,000
14.使用料及び賃借料	協力隊車両賃借料	298,080
	協力隊住居賃借料	654,000
19.負担金、補助及び交付金	協力隊員研修会負担金	139,690
合計		9,094,870

3 事業効果 売れる加工品づくり講座を開催したことにより、新たな6次産品の開発ができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅施設整備事業			所属	産業創生課 <small>6次産業推進係・道の駅整備係</small>
目名称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
決算額	68,404					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 291,048 )							59,000	9,400	4	52~55
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出			

1 事業概要 長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められています。また、有明海沿岸道路が開通すると、これまで以上町内に流入する車の量が増大することが見込まれる。このような状況を町のPRの機会の増大と捉え積極的に展開する必要があります。このようななか、今後、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として「道の駅しろいし」を整備する。

- 2 事業実績
- 道の駅しろいし用地取得等に係る事業認定完了。道の駅、町道拡幅用地の用地取得及び物件移転補償補の契約締結。
  - 道の駅しろいし建築確認及び構造計算適合判定の完了。
  - 道の駅西側の町道拡幅箇所の埋蔵文化財調査の完了。
  - 道の駅しろいし管理運営体制検討協議会(2回)ワーキングチーム(18回)の開催
  - しろいし共通ロゴ及びびれんこん、たまねぎのロゴ商標登録、プロモーション事業(福岡市)12回開催

(円)

項 目	内 容	決算額
9. 旅費	普通旅費(公衆電話設置に伴う打合せ)	16,180
11. 需用費	事務用消耗品	239,659
12. 役務費	建築確認申請・構造計算適合判定申請手数料等	476,210
13. 委託料	道の駅工事支援業務等委託料及び文化財写真測量図化等業務委託料	4,071,816
14. 使用料及び賃借料	文化財発掘調査に伴う機械及び仮設トイレ借上げ料等	298,188
15. 工事請負費	道の駅建築用地盛土工事、町道第二東区線パイプライン移設工事等	8,347,320
17. 公有財産購入費	道の駅しろいし及び町道第二東区線公有財産購入費	37,235,267
19. 負担金、補助及び交付金	道の駅運営支援補助金及び污水管管支持台設置負担金	2,127,825
22. 補償、補填及び賠償金	町道拡幅に伴う小屋及び電柱移転補償、道の駅地質等調査業務に伴う作物補償	15,591,703
計		68,404,168

※ふるさと基金 9,400千円充当

3 事業効果

道路利用者への安全で快適な道路交通環境の情報や町の観光情報等の提供と、地域浮上のため町民が一丸となって取り組むための施設整備に必要な建築確認・構造計算適合判定の完了及び用地取得等の契約の締結が完了した。

また、道の駅しろいし管理運営体制検討協議会、ワーキングチームを開催したことにより、運営に必要な事項の素案作りについて検討を行うことができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産業推進事業費				所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	2,616					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 4,372 )								2,500	116	95・96	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第4節	新たな地域活力の創出			

1 事業概要 平成23年3月「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」が施行されたことに伴い、本町産業の基軸である農業を持続し、発展させていくためには、農産物の生産に留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を目指し、農家所得の向上や地域の活性化を図る。

2 事業実績 ●6次産業活性化委員会 年度中2回開催  
●6次産業推進事業補助金交付 9事業者16件の事業を採択

(円)

項目	内容	決算額
8.報償費	活性化委員報償等	75,600
9.旅費	県外出張日当	1,000
11.需用費	消耗品費	28,868
19.負担金、補助及び交付金	6次産業推進事業補助金	2,511,000
合計		2,616,468

※ふるさと基金 2,500千円充当

3 事業効果 売れる加工品づくり講座とリンクすることにより、6次産業に興味があられる事業者を発掘できた。農商工連携についても推進することができた。



年度	29	会計	一般会計	単位:千円							
款	6	項	1	目	3	細事業名	新規農産物開発研究費			所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称	農業振興費					財源内訳					
決算額	2,053					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(2,630)								2,000	53	96
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第4節	新たな地域活力の創出			

- 1 事業概要 白岩地区をモデル地区に認定し、新たな果樹等の試験栽培を行い、売れる農産物、手間のかからない農産物の開発を目指す。また、収穫できた物は直売所等での試験販売を行い、売れる物については広く推進して作付面積の拡大を図る。なお、商品にならない物についても加工品の原材料として使用し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げているとおり、儲かる農産物の開発を目指す。  
また、佐賀農業高校と連携し、端境期対策として平野部での試験栽培も開始する。また一般の農業者、グループも対象に試験栽培を行ってもらい新規農産物の開発を目指す。

- 2 事業実績 (白岩地区果樹試験組合)  
●璃の香を中心に111本を栽培中。璃の香、中間母本能6号、露茜等を新たに34本増植  
●菊芋についても試験栽培中  
(佐賀農業高校)  
●カブ、大根、枝豆、ほうれん草、カリフラワー等の新しい品種を作付けされた  
(一般)  
●3事業者3品種(サラダごぼう、渋柿、ズッキーニ)

19.負担金、補助及び交付金 新規農産物開発研究費補助金 2,053,236円 ※ふるさと基金 2,000千円充当  
白岩地区果樹試験組合支出内訳 (円)

項目	内容	決算額
原材料費	苗木代	46,350
	肥料農薬代	48,160
	有害鳥獣対策費	171,528
	農具費、燃料費、資材代	1,077,109
使用料及び賃借料	借地料	38,470
	その他借り上料	48,000
委託料	作業委託料等	261,616
合計		1,691,233

項目	内容	決算額
原材料費	種子代	25,270
	肥料農薬代	102,548
	資材代	84,185
合計		212,003

3事業者分		
項目	内容	決算額
原材料費	種子、苗木代、肥料農薬代及び資材代	150,000
合計		150,000

- 3 事業効果  
・白石町内でもあまりできていない新規の野菜の試験栽培に着手することができた。  
・果樹の試験栽培については順調に生育している。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	産業創生課 商工観光係
目名称	商工振興費					財源内訳					
決算額	4,067					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 5,000 )									4,067	110
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興			

### 1 事業概要

本町の産業振興及び経営の安定を図るため、農協、商工会、漁協、産物直売所等との連携を図り、産地間競争が激しい農・水産物のブランド化に努め、販売促進、有利販売のための施策を講じた。主に農産物の大消費地である首都圏において、玉葱・蓮根のトップセールス及び「佐賀白石町特産物フェア」を一週間にわたり開催し消費者に対し直接本町特産物のPRを行った。

また、特産物のブランド化・PRにマスコットキャラクター「しろいしみのりちゃん」を活用し、販促グッズやイメージソングを使って、各種事業を展開した。

### 2 事業実績

19. 負担金補助及び交付金 4,067 千円

事業主体:白石町特産物PR推進協議会

- (1) 協議会宣伝活動…………… キャラクターグッズ製作(ピンバッジ500個) 宣伝用食材提供等
- (2) 産物消費宣伝活動…………… 首都圏での玉葱・蓮根トップセールス等  
東京都での白石町特産物フェア、佐賀うまいものフェア(イオン九州大野城店)白石特産物宣伝
- (3) 米消費拡大対策事業…………… 歌垣ロードレース、嘉瀬川ダム記念事業、小中学校(8校)での消費拡大宣伝活動

白石町特産物PR推進協議会 事業内容

[収入]

(1)町補助金	4,067,315 円
(2)特産物・グッズ売上等	1,134,653 円
計	5,201,968 円

[支出]

(1)協議会宣伝活動	568,463 円
(2)産物消費宣伝活動	4,171,505 円
(3)米消費拡大対策事業	462,000 円
計	5,201,968 円

### 3 事業効果

特産物PRについて首都圏でのPRに力をいれてきたが、玉葱、蓮根について消費者の認知度が高まってきている。また、マスコミも興味を持っていただきテレビでの放映や雑誌の掲載がたびたび行われるようになった。今後も白石ブランドの確立に向けて取り組んでいく。

年度	29	会計	一般会計								単位:千円
款	7	項	1	目	1	細事業名	商工振興費(地域商業活性化支援事業補助金)			所属	産業創生課 商工観光係
目名称	商工振興費					財 源 内 訳					決算書頁
決算額	1,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	( 1,000 )						500			500	111
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 2 節	商工業の振興		

### 1 事業概要

町内の空き店舗や空き家に新規出店を誘致することで町内商工業の活性化を図るとともに、町内で起業・創業を志す者に対して支援を行う。(総合戦略 起業・創業者支援)

### 2 事業実績

- 白石町地域商業活性化支援事業補助金 「県補助金1/2」  
町内の空き店舗や空き家を利用して新規出店を行う者に対し、対象となる経費の1/2を予算の範囲内において補助を行う。(限度額 1,000千円)  
  - <補助件数> 1件 (パン製造販売店)
  - <出店地域> 有明地域廻里津商店街
  - <補助内容> 改装費 (建物に附帯するものを対象とし、備品等の動産は含まない。)

節	決算額	主な支出内容
19. 負担金、補助及び交付金	1,000,000 円	地域商業活性化支援事業補助金

### 3 事業効果

町内商店街に新規出店してもらうことで商店街の集客力を高め、商店街を活性化させるとともに、空き店舗・空き家対策を図ることができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	7	項	1	目	1	細事業名	商工団体振興事業補助金 (商工団体環境整備事業補助金)			所属	産業創生課 商工観光係
目名称	商工振興費					財 源 内 訳					
決算額	2,282					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 2,282 )									2,282	111
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 2 節	商工業の振興			

1 事業概要

町内主要商店街である白石商店街に昭和62年に設置されていた街路灯が老朽化し危険防止のため平成28年度撤去され、一部防犯灯が設置された。しかし以前ほどの明るさはなく、地域商店街組織が商店街の賑わいを取り戻すために街路灯整備を行う事業に対し補助を行った。

2 事業実績

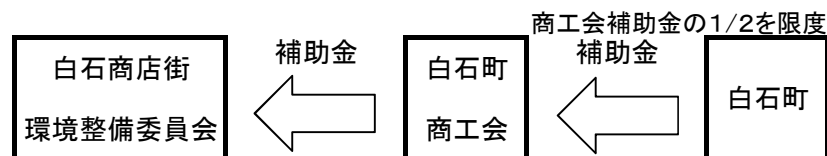
- 補助金交付先 白石町商工会
- 事業内容

商工団体環境整備事業費補助金

地域商店街組織が街路灯設置を行う事業に対し、白石町商工会が行った補助に対して、その補助金の1/2を限度として予算の範囲内において補助を行った。

事業実績

事業主体：白石商店街環境整備委員会  
 総事業費： 5,070,600円 (内補助対象経費 4,564,000円)  
 町補助金額： 2,282,000円  
 街路灯新規設置 25基



節	事業名	補助金	補助率	補助対象経費	決算額
19.負担金、補助金及び交付金	商工団体振興事業	商工団体環境整備事業補助金	1/2以内	4,564,000円	2,282,000円

3 事業効果

街路灯を整備したことで、町における中核的商店街である白石商店街の活性化及び環境の改善を図ることができた。

年度	29	会計	一般会計							単位:千円	
款	7	項	1	目	2	細事業名	観光費			所属	産業創生課 商工観光係
目名称	観光費					財源内訳					
決算額	1,441					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 3,555 )									1,441	111・112
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第3節	観光の振興			

### 1 事業概要

平成27年度策定した「白石町観光振興基本計画」に沿って観光推進協議会で協議を行い観光推進を図っている。平成29年度については協議会及び観光ワーキングを開催し主に観光パンフレットについて検討を行い、また観光モニターツアーを実施したことで町内観光資源の検証を行い、将来に向けた観光推進について検討を行った。

### 2 事業実績

節	決算額	主な支出内容
08. 報償費	642,600 円	観光推進協議会委員等報酬
09. 旅費	11,040 円	職員旅費
11. 需用費	33,746 円	事務用品・視察研修資料代
13. 委託料	261,700 円	観光モニターツアー業務委託料
14. 使用料及び賃借料	89,100 円	観光看板設置借地料
19. 負担金、補助及び交付金	403,000 円	県観光連盟等負担金

### 3 事業効果

「白石町観光振興基本計画」に沿って観光振興を進めていくことで、町内に有する観光、歴史的資産等を活用し、町民にはその観光、歴史的資産の価値を再認識してもらう。また、道の駅開業に向けて観光客を増加させる目的で誘客体制を整備することで町産業の振興を図っている。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計							所属	産業創生課 商工観光係
款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業				決算書頁
目名称	観光費					財源内訳					112
決算額	6,091					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	( 6,200 )							5,000		1,091	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第4節	新たな地域活力の創出		

1 事業概要

本事業は、町・農協・漁協・商工会をはじめ婦人連絡協議会・町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体が連携し、イベント等を開催することによる町のPRはもとより、町民の交流を図り、異業種の交流による新たな個人事業の展開など町及び町民の活性化を目的とする。尚、本事業経費については町、杵藤地区広域圏組合、農協、商工会、町内3漁協の補助金及びその他団体・個人からの協賛金をこれに充てる。

2 事業実績

19. 負担金補助及び交付金 6,091 千円 白石町まちおこし運営事業費補助金

事業主体：白石町まちおこし運営委員会

町内各種団体の代表者による白石町まちおこし運営委員会で、町の年間イベントとして春・夏・秋にイベント開催を計画した。また、各イベント開催にあたり、各地域で実行委員会を組織し、町民一体となったイベントを実施した。

なお、H29年度は「まちおこし振興補助金」を活用した新規にイベントを企画した団体からの申請があり、1件の補助を行った。

(支出内訳)

内容	開催日	開催場所	実績	決算額
しろいし歌垣春まつり	H29.4.23	歌垣公園	来場者 約5,000人	1,559,874 円
しろいし夏まつり	H29.8.16	マイランド公園	来場者 約9,000人	2,749,433 円
しろいしべったんこ祭	H29.11.19	ふれあい郷	来場者 約15,000人	3,279,341 円
まちおこし振興補助金			補助金 1件	60,000 円
祭舞台用支柱製作費			支柱1本製作	59,400 円
事務費			事務用品他	7,430 円
総事業費				7,715,478 円

(収入内訳)

◇町補助金	6,090,778 円
◇杵藤地区広域市町村圏組合補助金	459,000 円
◇団体協賛金	533,800 円
◇その他収入	631,900 円
計	7,715,478 円

3 事業効果

事業目的の推進を図るための白石町まちおこし運営委員会により、春・夏・秋それぞれのイベント開催計画の企画等からの実行委員会の設立を行ったので、民間主導型のまちおこし事業の推進体制が確立されている。イベントでは町内外から多くの参加があり、交流と町のPRが図られた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金農地維持支払事業				所属	農村整備課 農村整備係
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		153,210				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 153,296 )					114,927			38,283	101	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、農業者等による組織が取組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援する。

2 事業実績

農業者等による組織が取組む地域資源の基礎的保全活動(草刈り、水路の泥上げ)や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援を行った。

多面的機能支払交付金農地維持支払事業 【負担割合：国50%、県25%、町25%】

○ 19.負担金、補助及び交付金 153,129,400 円 活動組織数 67組織

支援単価	対象農地面積(ha)	事業費	内訳			
			国費	県費	町費	
田	3,000円/10a	4,972.24	149,061,600	74,530,800	37,265,400	37,265,400
畑	2,000円/10a	203.42	4,067,800	2,033,900	1,016,950	1,016,950
計		5,175.66	153,129,400	76,564,700	38,282,350	38,282,350

○ 23.償還金利子及び割引料 79,650 円 ※国費53,100円、県費26,550円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保安全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 5,175ha)

単位:千円

年度	29	会計	一般会計			細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払 (共同活動)事業				所属	農村整備課 農村整備係
款	6	項	1	目	7		財源内訳					
目名称		農地費								決算書頁		
決算額		92,671			国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		( 92,750 )				69,641			23,030	99~102		

白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。

2 事業実績

地域住民を含み組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援を行った。

支援単価 多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業 【負担割合：国50%、県25%、町25%】 活動組織数 66組織

田	2,400円/10a (1,800円/10a)	畑	1,440円/10a (1,080円/10a)	農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を適用。太原上のみ基本単価適用。弥築がH28年度で活動終了。
---	-------------------------	---	-------------------------	--

	対象農地面積(ha)		事業費	内訳			組織数
	田	畑		国費	県費	町費	
5年以上継続地区又は長寿命化取組地区	4,951.80	130.33	90,457,164	45,228,582	22,614,291	22,614,291	65
5年未満 (長寿命化未取組)	20.44	0.76	501,180	250,590	125,295	125,295	1
計	4,972.24	131.09	90,958,344	45,479,172	22,739,586	22,739,586	66

- 7.賃金(嘱託職員賃金) 742,817 円 事務費(県推進交付金) 1,359,000 円
- 9.旅費・特別旅費(多面的機能支払研修) 8,000 円 事務費(町費) 291,395 円
- 11.需用費(消耗品費) 539,578 円 計 1,650,395 円
- 12.役務費・通信運搬費(切手代) 30,000 円
- 14.使用料及び賃借料・バス借上料 130,000 円
- 19.負担金、補助及び交付金・負担金(広域推進検討会) 200,000 円
- ・補助金 90,958,344 円
- 23.償還金利子及び割引料 62,344 円
- ※国費41,562円、県費20,782円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 5,103ha)



単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払 (長寿命化)事業			所属	農村整備課 農村整備係	
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		174,456				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 174,456 )					130,849			43,607	101	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興				
-------------------------------	--	---------------	----------------------	--	--	---------------	----------	--	--	--	--

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有していますが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつあります。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図り、施設の長寿命化のための活動を支援する。

2 事業実績

水路の整備、更新 ・ 農道のコンクリート、アスファルト舗装 ・ ゲート、ポンプの整備、更新 ・ 土側溝のコンクリート側溝への更新 ・ ため池のゲート、バルブの更新 等

多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業 【負担割合：国50%、県25%、町25%】

○ 19.負担金、補助及び交付金 174,426,888 円 活動組織数 51組織

	対象農地面積(ha)		事業費	内訳			組織数
	田	畑		国費	県費	町費	
基本単価	4,101.72	114.85	165,376,588	82,688,294	41,344,147	41,344,147	48
1集落200万円適用(3組織5集落)	242.95	6.76	9,050,300	4,525,150	2,262,575	2,262,575	3
計	4,344.67	121.61	174,426,888	87,213,444	43,606,722	43,606,722	51

○ 23.償還金利子及び割引料 28,710 円 ※国費19,140円、県費9,570円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 4,466ha)

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費			所属	農村整備課 農村管理係	
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		24,000				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100	
(予算額)		( 24,000 )								24,000	100	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		
<p>1 事業概要</p> <p>国営筑後川下流土地改良事業や地盤沈下対策事業等で整備した各排水機場については、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。 これらの施設は、耐用年数の経過とともにその機能の低下等が懸念される。このため計画的な保全計画を策定し、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し、施設の状況に応じた計画的な整備、補修を行う。</p> <p>2 事業実績</p> <p>19.負担金補助及び交付金 基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 24,000 千円 事業費 120,000千円 (負担割合 国 50% 県 30% 町20%)</p> <p>【内容】</p> <p>町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設を、計画的に整備し将来的に機能を維持するため、実施計画書に基づき順次整備するもの。 事業主体は県となっており町は負担金を支払う。</p> <p>八平第1排水機場 : 昭和63年度築造 排水能力 2.4t/s ・ゲート・除塵機設備補修 八平第2排水機場 : 平成4年度築造 排水能力 3.5t/s ・ゲート・除塵機設備補修 六府方排水機場 : 平成3年度築造 排水能力 4t/s ・主エンジン補器設備更新、ゲート設備補修、発電機補器設備更新</p> <p>3 事業効果</p> <p>計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化を図った。</p>												

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費	所属	農村整備課 農村管理係		
目名称	農地費					財源内訳					
決算額	37,489					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 39,354 )						22,274		3,666	11,549	99・100
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

### 1 事業概要

地盤沈下対策事業、県営圃場整備事業等で造成された農業水利施設は、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。  
 これらの施設は、耐用年数の経過とともに、今後急速にその機能の低下等が懸念される。既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るためストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じている。  
 地沈水路の制水門などの基幹的な役割を果たしている施設については町が、揚水機・支線水路などについては土地改良区が実施主体となって計画的に整備し、その機能を維持していくこととしている。

### 2 事業実績

- 11.需用費(消耗品・燃料費) 32 千円
- 15.工事請負費 36,661 千円  
 【内訳】 制水門整備工事  
 ゲート補修整備・更新、開閉装置整備 10箇所(22門)
- 19.負担金補助及び交付金(負担金) 796 千円

### 3 事業効果

土地改良施設等の劣化状況に応じた、計画的な更新や予防的な保全対策を行うことができた。

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業				所属	農村整備課 農村整備係
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		80,719				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 101,040 )				41,866		31,000	5,932	1,921	99・100	
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		
<p>1 事業概要 農業用排水路の補修により用排水機能の適切な効果発現を図り、農道の舗装工事により農作物の安定的な供給の確保及び農作物の品質向上を目的とし、また、担い手への農地集積率の向上及び生産拡大、担い手の育成・確保を推進する。</p> <p>2 事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 11.需用費 72,547 円 (土地改良工事積算基準書他)</li> <li>○ 13.委託料 3,229,200 円 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業基盤整備促進事業白石第9地区農道地質調査業務委託 1,058,400 円</li> <li>農業基盤整備促進事業八平2号線農道地質調査業務委託 270,000 円</li> <li>農業基盤整備促進事業地沈31号水路整備測量設計業務委託 1,900,800 円</li> </ul> </li> <li>○ 15.工事請負費 77,417,640 円 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業基盤整備促進事業 白石第9地区農道舗装工事(1工区) (八平37号、八平47号) L=1056.1m 23,550,480 円</li> <li>農業基盤整備促進事業 白石第9地区農道舗装工事(2工区) (代行19号) L=261.9m 5,430,240 円</li> <li>農業基盤整備促進事業 白石第9地区農道舗装工事(3工区) (有明第二114号、115号、有明第四101号、116号) L=461.2m 11,508,480 円</li> <li>農業基盤整備促進事業 農道補修事業 421,200 円</li> <li>農業基盤整備促進事業 地沈31号水路整備工事 L=780m 36,507,240 円</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">土地改良区分担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基盤整備(農道整備) 41,817,600 * 5% = 2,090,880</li> <li>○基盤整備(水路整備) 38,408,040 * 10% = 3,840,800</li> </ul> </div> <p>3 事業効果 農業用排水路の補修により用排水機能の適切な効果が図られ、農作物の安定的な供給を確保することにより、担い手への農地の集積、生産拡大、所得の向上が図られた。</p>												

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業(当初分・繰越明許)			所属	農村整備課 農村整備係
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁
決算額		3,991				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)		( 5,000 )				1,936			200	1,855	100

白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農道を適切に維持管理し、その機能を十分に発揮させ農業の振興と農村環境の保全を図るため、町内未舗装農道の舗装工事を行うことにより施設機能の保持・保全を図る。

2 事業実績

- 13.委託料 178,200 円  
【内訳】  
農業基盤整備促進事業白石第8地区農道地質調査業務委託(3期) 178,200 円
- 15.工事請負費 3,812,400 円  
【内訳】  
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(6工区) 3,812,400 円  
(新開102号) L=180.0m

土地改良区分担金

○基盤整備(農道整備)  
3,990,600 \* 5% = 199,530

3 事業効果

農道等を整備補修したことにより、施設の機能を十分に発揮することができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業(補正分・繰越明許)			所属	農村整備課 農村整備係	
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		51,036				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 51,300 )				26,015		20,000	2,552	2,469	100	

白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	--	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農道を適切に維持管理し、その機能を十分に発揮させ農業の振興と農村環境の保全を図るため、町内未舗装農道の舗装工事を行うことにより施設機能の保持・保全を図る。

2 事業実績

○ 15.工事請負費 51,036,480 円

【内訳】

農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(7工区) (八平103号) L=745.8m	14,206,320 円
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(8工区) (八平49号) L=602.4m	12,160,800 円
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(9工区) (八平50号) L=588.2m	11,904,840 円
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(10工区) (有明第三104号) L=351.3m	8,542,800 円
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(11工区) (新開102号) L=191.0m	4,221,720 円

土地改良区分担金 ○基盤整備(農道整備) $51,036,480 * 5\% = 2,551,820$
---

3 事業効果

農道等を整備補修したことにより、施設の機能を十分に発揮することができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	白石基盤整備促進事業				所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					決算書頁	
決算額	64,905					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 65,185 )								60,000	4,905	101	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農業の競争力を強化するためにも、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進し、地域の実情に即した農産物の需要動向に応じた営農形態を選択することができるきめ細かい農地の暗渠排水等の基盤整備を実施する。

2 事業実績

○ 19.負担金、補助及び交付金

白石基盤整備促進事業補助金	64,904,700	白石土地改良区 (A=251.4ha)	佐賀県基盤整備促進事業 (暗渠排水型)
		370,884千円*17.5%	
		(国55%、県17.5%、町17.5%、土地改良区10%)	

※振興基金60,000千円充当

3 事業効果

農業の競争力を強化し、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進し、地域の実情に即した農産物の需要動向に応じた営農形態を選択することができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計										
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業佐賀西部白石地区				所属	農村整備課 農村管理係	
目名称		水利施設管理事業費				財源内訳					決算書頁		
決算額		13,596				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(16,000)					5,816		608	7,172	102~104		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興			

1 事業概要

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路(調圧水槽を含む)の管理に関し地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するものです。

補助率 国 30% 県30% 町 40%

管理対象施設 : 揚水機場 1箇所(揚水量 2.94×2=5.88m<sup>3</sup>/S)、  
佐賀西部導水路白石線 8,122m 山脚導水路 6,565m 白石導水路 2,498m 合計 17,185m(調圧水槽を含む)

管理事業内容 揚水機場 電気保安点検、操作・管理点検委託  
導水路 操作・管理点検委託

2 事業実績

11.需用費	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料	7,617 千円
12.役務費	通信運搬費・手数料・保険料	1,419 千円
13.委託料	4,539 千円	
	【内訳】	
	・白石平野揚水機場保安管理業務委託(高圧分)	262,440 円
	・白石平野揚水機場保安管理業務委託(低圧分)	71,280 円
	・白石平野揚水機場ポンプ施設点検業務委託	1,404,000 円
	・白石平野揚水機場等の操作業務委託(白石土地改良区へ委託)	690,000 円
	・白石平野地区水管理システム点検業務委託	2,106,000 円
	・白石平野揚水機場消防用設備等保守点検委託	5,400 円
14.使用料及び賃借料	土地借上げ料(JR敷地)	21 千円

3 事業効果

適正な管理を行うことができ、施設の安定的な稼働が図られた。



単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	6	項	1	目	11	細事業名	ため池等整備事業費			所属	農村整備課 農村整備係
目名称	ため池等整備事業費					財源内訳					
決算額	24,066					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 24,110 )						16,050		2,550	5,466	105

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

堤体より漏水が確認されている坂田ため池及び坊ヶ谷ため池について、県営事業により堤体の改修工事を行う。  
また、近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえて、平成25年度に佐賀県においてため池の一斉点検を実施された。この一斉点検の結果、下流に人家や公共施設等があり、施設が決壊した場合に影響を与える恐れがあるため池について、防災重点ため池として指定されたため、これらのため池を含む町内のすべてのため池のハザードマップの作成を行う。

2 事業実績

○ 11.需用費 56,003 円

○ 13.委託料

調査・診断業務委託料	16,059,600	佐賀県土地改良事業団体連合会 【財源内訳】 国費 16,050,000円 町費9,600円	梅ノ木谷他ため池地区ハザードマップ作成業務(梅ノ木谷、泉、新、天神前、坂田、嘉瀬川、法蔵寺ため池)
------------	------------	--	---

○ 19.負担金、補助及び交付金

県営ため池整備事業負担金	7,950,000	佐賀県農山漁村課長 【坂田ため池】 15,000千円*15%(国55%、県30%、地元15%) 【坊ヶ谷ため池】 38,000千円*15%(国55%、県30%、地元15%)	県営ため池整備事業(坂田地区、坊ヶ谷地区)
--------------	-----------	--	-----------------------

地元分担金	
○坂田ため池(白石土地改良区)	15,000千円 * 7.5% = 1,125,000
○坊ヶ谷ため池(牛間田区)	38,000千円 * 3.75% = 1,425,000

3 事業効果

堤体から漏水しているため池の改修やハザードマップの作成を行うことにより、農業用水の確保、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保に寄与することができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業環境保全事業費				所属	農村整備課 水産林務係
目名称	水産振興費					財 源 内 訳					決算書頁	
決算額	20,543					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 20,545 )						15,000		5,087	456	108	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 事業概要

漁場の海底耕耘、清掃等の整備開発を行い、漁場としての機能を回復させることにより、対象魚介類生産の回復増大を図り、漁業者の安定した経営と所得の向上を図る。  
漁業生産等に伴って多量に発生する「漁業用生産資材廃棄物」の適正処理を推進し、環境保全を図ると共に、廃棄物のリサイクルによる資源の有効活用に寄与する。

2 事業実績

事業費(実績)

11. 需用費	98,309 円	消耗品費77,789円、燃料費20,520円
13. 委託料	20,174,400 円	沿岸漁場整備事業(海底耕耘・堆積物除去)委託
19. 負担金、補助及び交付金	270,000 円	漁業用生産資材廃棄物適正処理事業補助金

(沿岸漁場整備事業決算内容)

事業費(円)	事業量 (ha)	負担区分			
		国庫補助金	県費補助金	白石町	漁協
		50%	25%	12.5%	12.5%
20,174,400	441.1	10,000,000	5,000,000	2,587,200	2,587,200

※補助対象事業費は20,000,000円

※漁協分担金は事業費から国庫及び県費補助金額を控除した額の1/2

※その他の財源 ふるさと基金2,500千円、分担金2,587千円

(漁業用生産資材廃棄物適正処理事業決算内容)

支 所	廃棄物物品名	数量(m3)	金 額(円)	補助金額
福富町支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	30	130,680	
	廃プラスチック類	22	291,600	
	小 計	52	422,280	82,900
新有明支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	35	340,200	
	廃プラスチック類	50	297,000	
	小 計	85	637,200	125,000
白石支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	24	233,280	
	廃プラスチック類	9.5	83,080	
	小 計	33.5	316,360	62,100
合 計		170.5	1,375,840	270,000

3 事業効果

効用の低下している漁場の生産力の回復や、水産資源の生息場の環境改善の効果が期待できる。  
漁業用生産資材の廃棄物が適切に処理され、漁場環境の保全が図られた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費				所属	農村整備課 水産林務係
目名称	漁港整備事業費					財源内訳					決算書頁	
決算額	22,354					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(22,402)						12,872			9,482	109	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興			

### 1 事業概要

安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業・海洋性レクリエーションなど総合的に配慮した『白石地域水産業の拠点』としての漁港整備を行う。  
 漁港漁村整備『資源管理型漁業・つくり育てる漁業等への支援、安全で快適な漁業地域の形成』のための施策を推進する。  
 大規模な地震及び津波の発生後も安定した漁業活動及び効率的な生産拠点の確保を図ることを目的として、新有明漁港の主要陸揚岸壁及び防波堤の機能を強化するために必要な機能診断を実施する。

### 2 事業実績

#### 事業費(実績)

09. 旅費	114,760 円	住ノ江漁港水産生産基盤整備事業基本計画協議
11. 需用費	250,084 円	消耗品費114,368円、燃料費11,095円、修繕料124,621円
13. 委託料	21,432,600 円	新有明漁港施設機能強化事業耐震・耐津波施設機能診断業務委託料20,115,000円 住ノ江漁港区域変更測量業務委託料1,317,600円
14. 使用料及び賃借料	556,270 円	事務機器リース料(プリンターリース料96,673円、積算共同システム使用料459,597円)

#### (新有明漁港施設機能強化事業決算内容)

事業費(円)	事業量	負担区分		
		国庫補助金	県費補助金	白石町
		50%	15%	35%
20,115,000	耐震・耐津波施設機能診断 1式 (4・6号防波堤、1・5・12号道路、2号駐車場、1・4号物揚場)	9,902,000	2,970,000	7,243,000

※補助対象事業費は19,804,000円

### 3 事業効果

大規模な地震及び津波の発生後も安定した漁業活動及び効率的な生産拠点が確保される。  
 漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出により、生産性の向上、就労環境の改善及び生産拠点漁港としての水産業の発展が見込まれる。

年度	29	会計	一般会計							単位:千円	
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費(新有明・繰越明許)			所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	漁港整備事業費					財 源 内 訳					
決算額	9,994					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 10,000 )						4,997			4,997	109
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 事業概要

効率的な維持管理、既存施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を目的として、施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ機能保全計画書の策定を行う。

2 事業実績

- 事業名 漁港施設ストックマネジメント事業
- 負担区分 国費50% 町費50%(補助対象事業費:9,940,000円)
- 業務概要 機能診断、機能保全計画策定
- 対象漁港 新有明漁港
- 対象施設 3~6号防波堤、1~4号物揚場、5~6号物揚棧橋、1~3・5・7~13号道路、1号橋梁、+1.0m泊地
- 事業費(実績)
  - 13. 委託料 9,994,320 円 水産物供給基盤機能保全事業機能保全計画策定業務委託

3 事業効果

既存施設の計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの縮減や施設の長寿命化が見込める。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計								
款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働・道路等環境整備事業費			所属	建設課 維持管理係
目名称	土木総務費					財源内訳					
決算額	9,592					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(10,000)									9,592	114

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 1 節	参加と協働の促進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	----------

○道路等環境整備事業

1 事業概要 各地区が主体となって施行する地区内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行った。(道路整備、水路整備)

2 事業実績 19 負担金補助及び交付金 1,671,840 円 実施地区数 1地区

地区名	事業内容	対象事業費	交付金額	補助率
上区	里道舗装工事	810,000	648,000	80%
戸ヶ里区	里道舗装工事	1,279,800	1,023,840	80%
合計		2,089,800	1,671,840	80%

計 1,671,840円

3 事業効果 地域住民の生活に必要な道路や水路を、地域が主体となって施工される補助事業であり、生活環境の向上に寄与することができた。

○住民協働環境整備資材支給事業

1 事業概要 地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民自ら施工する事業にかかる経費のうち、資材代や機械借上料等の補助を行った。

2 事業実績 19 負担金補助及び交付金 7,920,004 円 実施地区数 16地区

地区名	事業内容	交付金額	地区名	事業内容	交付金額
小島区	町道法面コンクリート打設	500,000	下区	町道法面コンクリート打設	496,071
北区	町道法面コンクリート打設	500,000	牛屋西分区	里道整備	500,000
神辺区	町道法面コンクリート打設	500,000	深通区	町道法面コンクリート打設	496,680
岡崎区	町道法面コンクリート打設	478,320	下区	町道法面コンクリート打設	500,000
下叢具区	町道法面コンクリート打設	500,000	東郷区	町道法面コンクリート打設	500,000
福吉区	町道離合場所設置	500,000	北区	町道法面コンクリート打設	500,000
吉村区	町道法面コンクリート打設	500,000	福吉区	町道法面コンクリート打設	500,000
東郷区	町道法面コンクリート打設	500,000	上田野上区	町道法面コンクリート打設	448,933

計 7,920,004円

合計 9,591,844円

3 事業効果 町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことで、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	1	細事業名	道路改築・修繕事業				所属	建設課 建設係
目名称	道路維持費					財源内訳					決算書頁	
決算額	79,038					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 81,100 )					46,569		8,500	23,300	669	114・115	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第3節	体系的な交通網の整備・充実			

1 事業概要

町内の町道総延長は約430kmあるが、既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい路線が多い。  
平成26年度に約200kmの路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次舗装補修を実施することで、安心・安全で快適な通行を確保する。

2 事業実績

路線名等	区分	9 旅費	11 需用費	13 委託料	15 工事請負費	16 原材料費	17 公有財産 購入費	22 補償補填 及び賠償金	計	主な事業内容
町道秀村線				1,544			2,355	17,214	21,113	家屋補償算定業務委託 3件 用地買収 A=732㎡、物件移転補償 2件
町道六府方東部線(3工区)					9,600				9,600	施工延長 L=224.0m 平均幅員W=4.6m 舗装工 A=882㎡、区画線工L=458m
町道岡崎線(2工区)					11,159				11,159	施工延長L=296m、W=3.5m 舗装工A=1,146㎡、区画線工L=636m
町道北端高原線(1工区)					5,730				5,730	施工延長L=150m、W=3.8m 舗装工A=616㎡、区画線工L=334m
町道遠江搦線(1工区)					9,639				9,639	施工延長L=235m、W=4.4m 舗装工A=938㎡、区画線工L=516m
町道横手第7号線(1工区)					9,219				9,219	施工延長L=214m、W=3.6m 舗装工A=759㎡、区画線工L=428m
町道太原遠江又線(1工区)					7,212				7,212	施工延長L=200m、W=3.5m 舗装工A=805㎡、区画線工L=400m
付帯工事					133				133	町道岡崎線法面補修工事
修繕工法調査検討業務				4,762					4,762	調査対象路線4路線L=3.6km、舗装構成調査、舗装修繕工法検討 路面性状調査2路線L=0.4km
事務費			173			298			471	現場用消耗品
計		0	173	6,306	52,692	298	2,355	17,214	79,038	

※公共施設整備基金 23,300千円充当

3 事業効果

老朽化した路線の舗装補修を実施し、道路利用者の安心・安全な通行を確保できた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費				所属	建設課 建設係
目名称		道路新設改良費				財源内訳					決算書頁	
決算額		78,355				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(78,857)						63,000		15,355	116・117	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第1章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第3節		体系的な交通網の整備・充実		

1 事業概要

地域住民の交通安全の確保を図るため、旧町間を結ぶ合併支援道路及び過疎地域自立促進計画道路を主として整備を行い、地域の生活基盤の充実を図る。

2 事業実績

単位：千円

路線名等	工事種類	延長(m)	15. 本工事費	17. 土地 購入費	22. 移転 補償費	事務費	計	主な事業内容	
町道白石13号線（新村線）	道路改良	179.6	25,215		1,314		26,529	(過疎債)	25,100 千円 道路改良・舗装
町道郷司給線	道路改良	191.2	16,418				16,418	(過疎債)	15,400 千円 道路改良・舗装
町道弁財線	道路改良	111.2	9,441	4	1,049		10,494	(過疎債)	9,900 千円 道路改良・舗装
町道第二東区線	道路改良			862	3,585		4,447	(過疎債)	4,900 千円 用地取得・建物補償
町道今泉深通線	道路改良			3,096			3,096	(過疎債)	7,700 千円 用地取得
町道沖小路1号線	道路改良	92.1	8,554	503	182		9,239		
町道古賀辺田線					460		460		
白石東4-7号線				11			11		
11. 消耗品費						36	36		各種資料代
12. 役務費						5	5		各種資料代
13. 委託料						6,717	6,717		測量設計委託料等
14. 使用料及び賃借料						617	617		積算システム使用料
16. 原材料費						286	286		現場用資材代
合計	—	—	59,628	4,476	6,590	7,661	78,355		

3 事業効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性向上が図られた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	2	細事業名	通学路整備事業				所属	建設課 建設係
目名称	道路新設改良費					財源内訳					決算書頁	
決算額	102,342					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 103,000 )					59,057		40,200		3,085	116・117	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第3節	体系的な交通網の整備・充実			

1 事業概要

社会資本整備総合交付金で取り組む路線は、小学、中学及び高校の通学路で主要道路となっている。  
しかし、いずれの路線も道路幅が狭く、歩行者が危険な状況である。  
このため、新しく歩道を設置し、道路を整備することにより、歩行者の安全を確保し、人に優しい交通環境の整備を図る。

2 事業実績

路線名等	区分	9 旅費	11 需用費	13 委託料	15 工事請負費	16 原材料費	17 公有財産 購入費	22 補償補填 及び賠償金	計	主な事業内容
町道中郷揚田線(福田工区)				173	8,419			498	9,090	相続登記業務 1件、電柱移転 1本 道路改良舗装 L=23m
町道高町百貫線(深浦・坂田工区)				896	61,987		2,031	10,640	75,554	道路改良舗装 L=309m、函渠継足 1箇所 用地買収 A=596㎡、水管橋移設 1箇所、電柱移転 2本
町道六府方南方線(東六府方工区)				16,770	140				16,910	測量設計業務 L=460m、ホーリング調査 L=20m 函渠詳細設計 2箇所、家屋移転補償算定業務 3戸
事務費等		10	481			297			788	研修旅費、事務用消耗品費、原材料費
計		10	481	17,839	70,546	297	2,031	11,138	102,342	

3 事業効果

整備路線は、主に小中学校及び高校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備(歩道設置)を行ったことにより児童生徒の安全性が確保できた。



単位:千円

年度	29	会計	一般会計			細事業名	橋りょう長寿命化事業	所属	建設課 建設係	
款	8	項	2	目	4					
目名称		橋りょう維持費				財源内訳			決算書頁	
決算額		68,909				国庫	県費	地方債		その他
(予算額)		( 69,703 )				38,906		14,000		16,003

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第3節	体系的な交通網の整備・充実
-------------------------------	-------------	------------------------	-------------	---------------

1 事業概要

白石町が管理する橋梁を良好な管理の下に可能な限り永く利用していくために、点検によって橋梁の現状を正確に把握し、そのデータを基に予防保全型の修繕計画策定を行い、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替え等に係る費用の縮減と平準化を図る。

2 事業実績

予算科目		金額	主な業務・工事内容
13. 委託料	詳細設計・補修設計業務	6,550	興福橋 L=15.9m (福富)、昭和橋 L=14.8m (福富)、446-2号橋 L=10.6m (遠江)
	橋梁点検業務	34,288	点検数 231橋
小計		40,838	
15. 工事費	市萬橋補修工事 (町道昭和捌旧堤防線)	8,773	L=14.8m W=5.0m 表面含浸工・ひび割れ充填工・ひび割れ注入工・伸縮継手工
	417-5号橋補修工事 (町道横手第6号線)	9,184	L=15.6m W=5.0m 表面含浸工・ひび割れ注入工・橋面防水工・橋梁塗装工
	満江2号橋補修工事 (町道遠江捌5号線)	8,476	L=13.3m W=4.0m 表面含浸工・鏡面防水工・舗装工
	満江2号水管橋移設工事 (町道遠江捌5号線)	454	水管橋(用水管)移設
小計		26,887	
19. 負担金	橋梁定期点検負担金	480	馬田橋橋梁定期点検負担金(大町町)
小計		480	
22. 補償金	水道管移転補償	704	満江2号橋水管橋(上水道)移転補償
小計		704	
合計		68,909	—

3 事業効果

予防保全型の維持補修管理により、安心安全の交通ネットワーク(道路網)を確保する。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計								
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業			所属	建設課 建築住宅係
目名称	住宅管理費				財源内訳					決算書頁	
決算額	28,963				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 28,965 )				13,399				15,564	121	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第1節	生活基盤の充実		

1 事業概要

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の補修等を行い、町営住宅の適正な管理を図った。

2 事業実績

節	予算額	決算額	内容説明
13. 委託料	856	855	六角住宅下水道接続及び宅内改修工事設計監理業務 855,360円
15. 工事請負費	28,109	28,108	六角住宅下水道接続及び宅内改修工事 28,108,080円
合計	28,965	28,963	

3 事業効果

老朽化した町営住宅の補修を行うことにより、施設の延命化を図ることができた。

年度	29	会計	一般会計								単位:千円	
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業(繰越明許)				所属	建設課 建築住宅係
目名称	住宅管理費					財源内訳					決算書頁	
決算額	23,193					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(26,000)					8,828				14,365	121	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第1章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第1節	生活基盤の充実			

### 1 事業概要

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の補修等を行い、町営住宅の適正な管理を図った。

### 2 事業実績

節	予算額	決算額	内容説明
13. 委託料	1,500	839	上廿治住宅設備・配管改修工事設計監理業務 839,160円
15. 工事請負費	24,500	22,354	上廿治住宅設備・配管改修工事 22,353,840円
合計	26,000	23,193	

### 3 事業効果

老朽化した町営住宅の補修を行うことにより、施設の延命化を図ることができた。

年度	29	会計	一般会計									
款	8	項	7	目	1	細事業名	鳥ノ巣ため池整備費				所属	建設課 維持管理係
目名称	砂防費					財源内訳					決算書頁	
決算額	22,337					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 26,001 )									22,337	122	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章			ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備	
1 事業概要	鳥ノ巣地区にある廃止ため池については、老朽化による漏水が著しく、このままでは堤体の崩壊により下流域の家屋及び人命に関わる危険性があったため、平成27年度の地元要望を受け、その対策として28年度にため池の漏水基礎調査、測量及び詳細設計を終え、29年度に砂防堰堤として、堤体の改修を行った。											
2 事業実績	13 委託料	3,875,040 円	○鳥ノ巣ため池調査測量及び詳細設計委託						3,875,040 円			
	15 工事請負費	18,461,520 円	○鳥ノ巣ため池整備工事						18,461,520 円			
		22,336,560 円										
3 事業効果	土石流氾濫区域に指定された当該箇所において、廃止ため池を砂防堰堤として整備し、土石流災害、土砂災害等の自然災害への備えを図ることができた。											

年度	29	会計	一般会計			単位:千円																							
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応指導教室事業			所属	学校教育課 庶務係																		
目名称		教育振興費				財源内訳					決算書頁																		
決算額		3,920				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129																		
(予算額)		( 4,006 )								3,920																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成																			
<p>1 事業概要</p> <p>心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員を配置し指導を行った。</p> <p>場所 白石町交流館 2階 指導員 専任指導者3名</p>																													
<p>2 事業実績</p> <table border="0"> <tr> <td>7.賃金</td> <td>3,613,600 円</td> <td>(指導員賃金 3名分)</td> </tr> <tr> <td>11.需用費</td> <td>154,017 円</td> <td>(消耗品費 154,017円 修繕料 0円)</td> </tr> <tr> <td>12.役務費</td> <td>45,678 円</td> <td>(通信運搬費 41,466円、手数料 4,212円)</td> </tr> <tr> <td>14.使用料及び賃借料</td> <td>74,688 円</td> <td>(ケーブルテレビ使用料 74,688円)</td> </tr> <tr> <td>18.備品購入費</td> <td>31,400 円</td> <td>(備品購入費 31,400円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3,919,383 円</td> <td></td> </tr> </table>												7.賃金	3,613,600 円	(指導員賃金 3名分)	11.需用費	154,017 円	(消耗品費 154,017円 修繕料 0円)	12.役務費	45,678 円	(通信運搬費 41,466円、手数料 4,212円)	14.使用料及び賃借料	74,688 円	(ケーブルテレビ使用料 74,688円)	18.備品購入費	31,400 円	(備品購入費 31,400円)		3,919,383 円	
7.賃金	3,613,600 円	(指導員賃金 3名分)																											
11.需用費	154,017 円	(消耗品費 154,017円 修繕料 0円)																											
12.役務費	45,678 円	(通信運搬費 41,466円、手数料 4,212円)																											
14.使用料及び賃借料	74,688 円	(ケーブルテレビ使用料 74,688円)																											
18.備品購入費	31,400 円	(備品購入費 31,400円)																											
	3,919,383 円																												
<p>3 事業効果</p> <p>家庭に引きこもりがちな不登校の子どもたちにとって、学校復帰へのワンステップとしての役割を十分に果たしている。適応教室におけるさまざまな活動により心のエネルギーが充足され、適応教室内でも学習に自ら取り組む姿も見受けられ、「やる気」の向上が見られた。</p>																													

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	10	項	2	目	2	細事業名	学校教育課費(小学校情報教育費)			所属	学校教育課 学校教育係	
目名称	教育振興費					財源内訳						
決算額	25,162					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)	( 25,163 )									25,162	134	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章			個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成	

1 事業概要

平成23年4月に「教育の情報化ビジョン」が取りまとめられ、国は、電子黒板や学習用電子端末などのICT機器等を利活用した教育を推進している。佐賀県も例外ではなく、教育現場におけるICT機器等の整備と利活用教育に関する研修の充実を図るなどして、先進的な利活用教育の推進を目指している。こうした動きを受け、白石町でも町内小学校でタブレットパソコンを配置し、デジタル教科書による授業の実現を図り、ICT機器等を利活用した教育を推進する。

【小学校移動パソコン教室】

Aグループ	須古小学校、六角小学校
Bグループ	白石小学校、福富小学校、有明東小学校
Cグループ	北明小学校、有明西小学校、有明南小学校

※半月から1か月を目途に移動

2 事業実績

13.委託料

町内小学校 移動パソコン教室運用委託料

16,984,080 円

※町内8小学校(3グループに分ける)でのパソコンを利用した授業を行えるようにするため、ICT機器利活用サポート員による、移動パソコン教室の機器の移動及びICT機器を利活用した教育支援業務  
月額 1,415,340円 × 12か月 = 16,984,080円

14.使用料及び賃借料

町内小学校 移動パソコン機器リース料

8,177,400 円

※月額 681,450円 × 12か月 = 8,177,400円

合計 25,161,480円【25,162千円】

3 事業効果

町内小学校で一律にタブレットパソコンを利用した授業が行え、児童の興味と思考を高める授業ができた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	所属	学校教育課 庶務係		
目名称	学校管理費					財源内訳					
決算額	41,843					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 42,200 )									41,843	131・135

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

### 1 事業概要

学校現場では、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障がい等の特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、学校現場で児童生徒への個別対応に適した教育支援員を配置し、状況把握と早期に適切な対応を行うことにより、教職員の負担軽減と児童生徒へのきめ細やかな支援を行った。

- ・特別支援学級の児童生徒への対応補助
- ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
- ・障がい等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
- ・授業や補充学習の指導補助
- ・各種学校行事における指導及び準備補助
- ・事務補助

### 2 事業実績

#### 7.賃金(学校教育支援員賃金)

小学校(38人)	31,104,000	円
中学校(11人)	10,739,000	円
計	41,843,000	円

須古小	六角小	白石小	北明小	福富小	有明東	有明西	有明南
5人	4人	4人	7人	6人	4人	4人	4人

白石中	福富中	有明中
4人	4人	3人

### 3 事業効果

各学校現場において教育支援員を配置して、児童生徒のそれぞれの状況に応じた適切な支援を行うことにより、児童生徒へのきめ細やかな支援・補助が図れた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計									
款	10	項	2・3	目	2	細事業名	コミュニティ・スクール事業			所属	学校教育課 庶務係	
目名称		教育振興費				財源内訳					決算書頁	
決算額		4,155				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 4,915 )				804				3,351	133・137	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		

1 事業概要

熟議や協働のもと信頼される開かれた学校づくりを目的として、学校運営協議会を設置し、地域に根差したコミュニティ・スクールの導入のあり方と推進について、実践を通じて調査・研究を行った。

2 事業実績

須古小学校	539,933 円	白石中学校	321,000 円
六角小学校	213,967 円	福富中学校	291,758 円
白石小学校	250,013 円	有明中学校	298,675 円
北明小学校	565,968 円	計	911,433 円
福富小学校	551,778 円		
有明東小学校	257,717 円		
有明西小学校	568,513 円	合計	4,154,523 円
有明南小学校	295,201 円		
計	3,243,090 円		

3 事業効果

全小中学校において、保護者や地域の方に「学校支援サポーター」として関わってもらったことで、保護者や地域の方の学校への関心が高まった。



年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	10	項	4	目	1	細事業名	小学校施設整備費			所属	学校教育課 学校教育係
目名称	小学校施設整備費					財源内訳					
決算額	37,432					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 39,650 )								36,000	1,432	138
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成	

### 1 事業概要

児童の学習・生活の場である小学校施設の適切な維持管理のため、改修工事等を実施し児童の安全を確保するとともに施設環境の充実に努めた。

### 2 事業実績

11.需用費	4,486 円	独自で実施した修繕等に必要な消耗品代	
11.燃料費	4,043 円	独自で実施した修繕等に必要な機材の燃料代	
11.修繕料	5,245,334 円	緊急を要する修繕、須古小学校・白石小学校・有明南小学校プールろ過機修繕等	
13.委託料	2,563,920 円	白石小学校体育館外壁等改修工事設計業務委託等	
14.機械借上料	32,400 円	独自で実施した修繕等に必要な機械の借上料	
15.工事請負費	29,581,576 円	北明小学校北校舎屋上防水等工事	8,530,000 円
		有明西小学校校舎屋上防水等改修工事	9,180,000 円
		六角小・須古小学校建物解体工事	3,405,240 円
		有明西小学校図書室空調機更新工事	2,322,000 円
		福富小学校屋上防水等改修工事等	6,144,336 円
計	37,431,759 円		

※公共施設整備基金 36,000千円充当

### 3 事業効果

学校施設の老朽化が進行する中、環境向上や機能改善に向けた施設の点検・維持管理を実施することで、学校施設・設備を健全な状態に保ち、児童の教育環境の充実と安全確保が図れた。

単位:千円

年度	29	会計	一般会計			細事業名	中学校施設整備費				所属	学校教育課 学校教育係
款	10	項	4	目	2							
目名称		中学校施設整備費				財源内訳					決算書頁	
決算額		10,304				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		( 14,900 )							10,000	304	138・139	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		

1 事業概要

生徒の学習・生活の場である中学校施設の適切な維持管理のため、改修工事等を実施し生徒の安全を確保するとともに施設環境の充実に努めた。

2 事業実績

11.需用費	9,936 円	独自で実施した修繕等に必要な消耗品代	
11.修繕料	2,445,275 円	緊急を要する修繕、有明中学校深井戸ポンプ取替工事等	
12.役務費	50,000 円	福富中学校校舎耐震性能判定手数料	
13.委託料	1,455,840 円	福富中学校技術課室改修及び技術科棟解体工事設計等	
15.工事請負費	6,342,840 円	白石中学校屋上防水等改修工事	2,877,120 円
		白石中学校職員室空調機更新工事	1,188,000 円
		有明中学校給食室ボイラー改修工事等	2,277,720 円
計	10,303,891 円		

※公共施設整備基金 10,000千円充当

3 事業効果

学校施設の老朽化が進行する中、環境向上や機能改善に向けた施設の点検・維持管理を実施することで、学校施設・設備を健全な状態に保ち、生徒の教育環境の充実と安全確保が図れた。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円					
款	10	項	4	目	3	細事業名	子どもの学習環境改善事業			所属	学校教育課 学校教育係
目名称	子どもの学習環境改善費					財源内訳					
決算額	211,105					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 214,800 )								200,000	11,105	139
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成	

### 1 事業概要

近年地球温暖化等の要因により、小中学校教室内の夏場の室温が連日30℃を超えることが多くなった。このような中で授業を行うことは、児童生徒や教師が熱中症を発症する危険性が高まる。また、集中力や判断力の低下にもつながりやすいため、町内の全小中学校の普通教室及び特別支援学級にエアコンを設置した。

### 2 事業実績

11.需用費	99,818 円	消耗品代	
13.委託料(設計)	3,677,400 円	町内小中学校空調設備工事設計業務委託 (繰越明許)	
13.委託料(監理)	3,153,600 円	白石小学校空調設備工事監理業務委託料等	
15.工事請負費	204,174,000 円	白石中学校空調設備整備工事	19,872,000 円
		福富中学校空調設備整備工事	10,025,640 円
		有明中学校空調設備整備工事	12,841,200 円
		須古小学校・六角小学校空調設備整備工事	41,516,280 円
		白石小学校・福富小学校空調設備整備工事	47,502,720 円
		北明小学校・有明東小学校空調設備整備工事	32,758,560 円
計	211,104,818 円	有明西小学校・有明南小学校空調設備整備工事	39,657,600 円

※公共施設整備基金 200,000千円充当

### 3 事業効果

各小中学校に空調設備を整備したことで、夏場の高温時による児童生徒の健康悪化の防止に努めることができた。また、児童生徒が集中して学習できる環境が整い今後の学力の向上が期待できる。

年度	29	会計	一般会計						単位:千円		
款	10	項	05	目	03	細事業名	文化活動推進・文化財保護費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目名称	文化活動推進・文化財保護費					財源内訳					
決算額	4,735					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	( 5,292 )						20		3,111	1,604	142・143
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第3節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造			

1 事業概要

- ・文化活動推進:九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会又は表彰式典等への出場者に対し、1人あたり、九州大会では5,000円、全国大会では10,000円、国際大会では50,000円を交付する。ただし、団体においては、10万円を限度とする。
- ・「愛」をテーマとする和歌を全国から募集する「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」を開催し、入賞53首を選考し表彰する。
- ・文化財保護:開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査及び啓発推進。
- ・明治維新150年事業の一環として、郷土の偉人を紹介する文化講演会を開催する。
- ・伝統芸能の保存・伝承に必要不可欠な用具の購入及び修理に要する経費に対し、一団体当たり年度内で10万円を限度として、2分の1以内を助成する。
- ・伝承芸能の笛奏者が、初心者等へ指導助言できるよう篠笛指導者講習会を開催する。

2 事業実績

08 報償費	384 千円	三十一文字コンテスト選者謝金	60,000 円	
		三十一文字コンテスト入賞記念品代	156,930 円	
		文化講演会講師謝金	30,000 円	
		篠笛講習会講師謝金	137,500 円	
09 旅費	30 千円	篠笛講習会講師旅費	30,000 円	
11 需用費	239 千円	消耗品費	48,061 円	
		三十一文字コンテスト入賞歌集印刷費	191,862 円	
12 役務費	102 千円	三十一文字コンテスト募集チラシ・選考結果等送料	101,559 円	
13 委託料	420 千円	指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)	215,000 円	
		三十一文字コンテスト掲示板作成設置委託料(2基)	205,200 円	
14 使用料及び賃借料	245 千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料	244,080 円	※その他の財源
19 負担金、補助及び交付金	3,315 千円	伝承芸能保存育成助成金(2団体)	62,000 円	市町村振興協会交付金 3,000千円
		文化振興財団自主事業補助金	3,207,706 円	篠笛講習会参加料 66千円
		文化振興激励費交付金(延べ6人-全国大会3人・九州大会3人)	45,000 円	21世紀人づくり基金 45千円

3 事業効果

地域の文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心を増進させることができた。

年度	29		会計	一般会計		単位:千円						
款	10	項	05	目	04	細事業名	青少年育成費			所属	生涯学習課 生涯学習係	
目 名 称		青少年育成費				財 源 内 訳						
決算額		2,190				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)		( 2,800 )					300		1,288	602	143	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	--	--	---------------	-------------------------	---------------	---------------

### 1 事業概要

- ・ 青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、地域ぐるみで見守り、地域を拠点とした文化活動、野外活動、自然活動を行う。
- ・ 自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め、白石町の青少年リーダー育成をめざす。
- ・ 放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300千円  
 ○おおどぼう倶楽部・・・町内小学校4～6年生の希望者(H29:36名)に、野外活動を中心とした年間8回の体験学習活動を行う。  
 ○ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者(H29:5名)を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。
- ・ 青少年育成町民会議では、通学合宿、防犯パトロール、花いっぱい運動の推進及び青少年育成団体への助成等を行っている。

### 2 事業実績

08 報償費	397千円	おおどぼう倶楽部特別講師謝金	26,000円
		おおどぼう倶楽部指導者謝金	209,160円
		ジュニア合唱教室講師謝金	162,000円
09 旅費	933千円	おおどぼう倶楽部旅費	933,462円
11 需用費	172千円	消耗品費	71,075円
		食糧費	100,643円
12 役務費	66千円	通信運搬費	2,016円
		傷害保険料	63,500円
14 使用料及び賃借料	23千円	会場借上料	22,800円
19 負担金、補助及び交付金	600千円	体験施設使用料	0円
		青少年育成町民会議補助金	599,744円

### H29おおどぼう倶楽部

回	内 容	期日	場 所
1	開講式&諫早で友だち作り	6月3日(土)～4日(日)	諫早少年自然の家
2	長崎脇街道ウォークラリー	7月1日(土)	白石町内
3	おおどぼうたちの修学旅行「博多総合車両所」	7月25日(火)	福岡県筑紫郡那珂川町
4	大島村で漁師になろう	11月3日(祝)～4日(土)	長崎県平戸市大島村
5	おおどぼうたちのミニガタリンピック大会	9月16日(土)	鹿島市「道の駅 鹿島」
6	安心院で農村民泊だ	10月14日(土)～15日(日)	大分県宇佐市安心院町・院内町
7	しめ縄作り	12月16日(土)	ふれあい郷「遊喜館」
8	閉講式&お別れ会(火起こし選手権BBQ)	1月27日(土)	ふれあい郷「遊喜館」

※4「大島村で漁師になろう」については台風襲来により日程を変更  
【変更前】8/5(土)～7(月) 2泊3日 【変更後】11/3(祝)～4(土) 1泊2日

※5「おおどぼうたちのミニガタリンピック大会」は台風襲来のため中止

※その他の財源 おおどぼう倶楽部参加者負担金 593千円  
21世紀人づくり基金 695千円

### 3 事業効果

青少年育成事業をとおし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町の子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりができた。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られた。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもとしての様々な能力を養った。

年度	29	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	6	目	1	細事業名	町スポーツ大会費				所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目名称	保健体育総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額 (予算額)	817 (1,039)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	817	146・147
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実			

1 事業概要

事業名	自治公民館対抗女子ソフトバレーボール大会	自治公民館対抗男子ソフトボール大会	健康パークゴルフ選手権大会	ニュースポーツ体験会及びニュースポーツフェスティバル
開催日	平成29年6月11日(日)	平成29年9月10日(日)	平成29年11月15日(水)	平成29年5月16日(火)・平成29年11月19日(日)
会場	白石社会体育館・白石中学校体育館	総合運動場他9会場	しろいしパークゴルフ場	白石社会体育館・有明スカイパークふれあい郷「自育館」
内容	参加42チームを6クラスに分けて、環状リーグ戦2パート決勝戦方式で女子ソフトバレーボール大会を実施。	参加66チームを9クラスに分けてのトーナメント方式で、男子ソフトボール競技大会を実施。	参加67名。ルール・競技内容の説明。18ホール競技を実施。	ベタンク、輪投げ、スラックライン、ダーツ、シャッフルボード、スカットボール、パッゴ、モルック、ビーンボウリング、キャッチングザステック、ディスクゴルフなどのニュースポーツを実施。

2 事業実績

参加人数等	109公民館中42チーム (白石10、福富10、有明22)、 人数にして選手336人。	109公民館中66チーム (白石41、福富9、有明16)、 人数にして選手1,188人。	老人クラブ6支部中67名参加。	ニュースポーツ体験会22名参加。 ニュースポーツフェスティバル118名参加。 参加者は複数の種目に参加しています。
事業費	08 報償費 133,100円 11 需用費 98,400円 13 委託料 35,000円	08 報償費 320,564円 11 需用費 104,483円 16 原材料費 11,700円	08 報償費 20,846円 09 旅費(費用弁償) 2,000円	08 報償費 20,000円 09 旅費(費用弁償) 31,000円 11 需用費 39,482円
事業費計	266,500円	436,747円	22,846円	90,482円

3 事業効果

事業効果	第5回大会の実施。前回から5チーム増加。全町行事であり、大会前の練習も地域ごとで熱心に行われており、大会当日のみならず総体的な盛り上がりがあった。	第6回大会の実施。前回から1チーム減少。ランク付けを実施して同レベルのチーム同士が競技し、大会として盛り上がった。	第1回大会の実施。高齢者を対象としたスポーツ大会として実施。町老人クラブ連合会の協力をいただき想定以上に盛り上がった。	手軽なニュースポーツを体験してもらい、多くの参加者の方がニュースポーツに対し興味を持たれ、好評を得ることができた。
------	---	---	---	---

年度	29		会計	一般会計		単位:千円						
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)			所属	生涯学習課 生涯スポーツ係	
目 名 称		保健体育総務費				財 源 内 訳					決算書頁	
決算額		3,974				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	147	
(予算額)		( 4,000 )						3,000		974		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実				

### 1 事業概要

#### ○歌垣の郷ロードレース大会

「しろいし」の知名度を全国的に高めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し町のPR活動と活性化を図る。

#### ① 大会開催日：平成30年3月11日(日)

大会参加者：第23回 2,323人(平成29年度)

競技種目：日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部

合計5種目 15競技を実施

※参考 競技申込者：第1回769名 第2回985名 第3回1,115名 第4回1,503名 第5回2,104名 第6回2,014名

第7回2,185名 第8回2,343名 第9回2,324名 第10回2,946名 第11回2,522名 第12回2,718名

第13回2,776名(平成19年度) 第14回2,788名(平成20年度) 第15回2,701名(平成21年度) 第16回2,814名(平成22年度)

第17回2,720名(平成23年度) 第18回2,784名(平成24年度) 第19回2,746名(平成25年度) 第20回3,154名(平成26年度)

第21回2,575名(平成27年度) 第22回2,272名(平成28年度)

#### ② 企画・運営：実行委員会形式による大会の企画・運営

実行委員会の構成メンバー：陸上関係者・学校・スポーツ推進委員等22名で構成。

タイム計測(タグ付き)者については、第22回大会から参加料を一律500円値上げしている。(500円→1,000円、1,500円→2,000円)

申込方法の改善として、第23回大会からネットエントリーを追加採用した。

### 2 事業実績

#### 13. 委託料

歌垣の郷ロードレース大会実行委員会へ委託 3,973,717円

① 第21回大会前の12月に日本陸連公認検定を実施(10キロ)。公認期間 2016年1月1日～2020年12月31日

② 実行員会を9月から3月まで計5回開催

※総事業費(大会実行委員会会計の支出額) 7,781,725円

### 3 事業効果

ロードレース大会を開催することにより、町の活性化、「駅伝の町白石」のPR。町民へのスポーツ意識の高揚を図ることができた。

申込方法にネットエントリーを追加採用し、全国的に大会PRと参加申込ができ、大会の参加者数を上げることができた。

九電工前田和浩選手をはじめ県内外の実力ある中学・高校の選手を招待して大会を盛り上げ、駅伝の町白石のPRに資することができた。

単位：千円

年度	29	会計	一般会計									
款	10	項	6	目	2	細事業名	白石社会体育館改修事業費				所属	生涯学習課 白石公民館係
目名称	体育施設管理費					財源内訳					決算書頁	
決算額	118,994					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 118,995 )							110,000		8,994	148	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実			

1 事業概要

築40年の老朽化した体育館の改修工事を行い、快適で安全な施設を提供して町民の生涯スポーツ推進を図る。

2 事業実績

節	名称	請負額
13.委託料	白石社会体育館改修工事監理委託料	1,911,600円
15.工事請負費	白石社会体育館改修工事	117,082,800円
	事業費計	118,994,400円

【改修工事の主な内容】

①	屋根改修・防水工事	カラーガルバリウム鋼板リーフ施工(カバー工法)、南側陸屋根部分の塗膜防水工事
②	外壁改修	西面及び東面の外壁張替え、クラック補修、モルタル浮き及び欠損部補修
③	建具改修	窓ガラス入れ替え(強化ガラス)、館内引き扉交換
④	内装改修	内壁化粧板貼り、天井天板落下防止金具取付け、ギャラリークロス貼り、玄関ロビースロープ設置
⑤	塗装改修	外部及び内部塗装
⑥	外構工事	周囲土留め壁・盛土、U字側溝、防草シート張り、下水排水管先行布設、玄関鉄骨階段取替え
⑦	設備改修	多目的トイレ便器交換及び非常時呼び出しブザー設置

3 事業効果

施設の長寿命化が図られ、安心安全な施設の提供ができ、町民スポーツの振興等に資することができる。